福島県

教育旅行
総合ガイドブック











福島県観光交流課・(公財)福島県観光物産交流協会

ふくしまから、持続可能な未来を探究・創造する

～想像力を働かせて、もっと深く、前向きに。一緒に学び合う新しい教育旅行へ～



福島県知事 内堀雅雄

東日本大震災以来、全国の皆様から、たくさんの励ましや温かいご支援をいただいておりますことに改めて心から感謝を申し上げます。

福島県は、近代への歴史の転換点となった戊辰戦争や磐梯山の大噴火、そして、東日本大震災などさまざまな困難を経験しながらも、諦めることなく挑戦を続けている場所です。福島県の歴史や伝統文化をはじめ、雄大な自然や農業、未来への取り組みや息吹を通して、これからの持続可能な社会や地域づくりの実現、児童生徒の皆さんの行動変容につながる気づきを得ることができます。

このガイドブックでは、奥深い歴史や伝統文化、美しく豊かな自然や農業を素材とした体験型学習のほか、震災・原発事故という世界で類を見ない「複合災害」を経験した福島オンリーワンの新しいスタディツアー「ホープツーリズム」等の多様な学びをテーマ別で紹介しております。

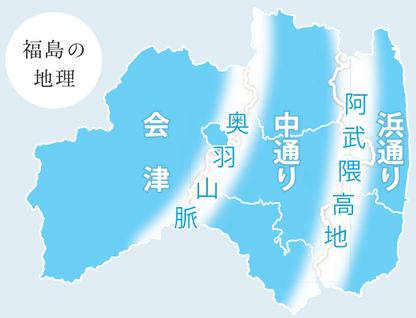
福島県を学びのフィールドとして、持続可能な未来を探究・創造する、一緒に学び合う新しい教育旅行をぜひご検討ください。





個性豊かな3地域が多種多様な学びを生み出す

南北に連なる阿武隈高地と奥羽山脈を境に西から「会津」「中通り」「浜通り」の3地域に分けられる福島県は、異なる気候風土のもと、それぞれに魅力的な特徴があります。各地域の気候風土、自然、育んできた歴史、伝統文化などが、さまざまな教育旅行ニーズに応える多種多様な学びを生み出しています。





ホープツーリズム

アクティブラーニング、探究学習などに完全対応

世界で類を見ない「複合災害（地震・津波、原子力災害、風評被害）」を経験した唯一の場所、福島県。事実、教訓、復興への挑戦から得た学びを私たちはあえて「震災・防災学習」と呼ぶことはしません。ホープツーリズムは、複合災害の教訓等から「持続可能な社会・地域づくりを探究・創造する」福島オンリーワンの新しいスタディツアーです。

持続可能な社会の実現につながる「多様な学び」

あらゆる学びのテーマに完全対応

幕末の戊辰戦争や会津藩の精神から学ぶ「自分自身の生き方」。雄大な自然との触れ合いから感じる「自然と人間との共生」。農業体験で出合う「新しい価値観」。福島の過去・現在・未来からの生きた学びは、自然の恵みや脅威、社会や地域の成り立ち、日常生活や自分自身の行動変容など、「持続可能な社会の実現」につながるさまざまなテーマに対応が可能です。



目 次

知事挨拶 02

フィールドマップ・交通アクセス 04

ホープツーリズムとは 06
複合災害の教訓等から「持続可能な社会・地域づくりを探究・創造する」福島オンリーワンの新しいスタディツアー

福島県教育旅行×探究×SDGs 16
SDGsの視点から、持続可能な社会の実現に向けたヒントを学ぶ

歴史学習・伝統文化体験 18
幕末の会津の歴史等から“ありたい未来”と“ありたい自分”を創造する

自然体験・環境学習 22
持続可能な自然と人間の共生を考える

農業体験・農家民泊 24
普段味わえない暮らしの中で、“新しい価値観”に出合い、視野を広げる

モデルコース 28
- 歴史学習・伝統文化体験
- 自然体験・環境学習
- 農業体験・農家民泊
- 他県連携

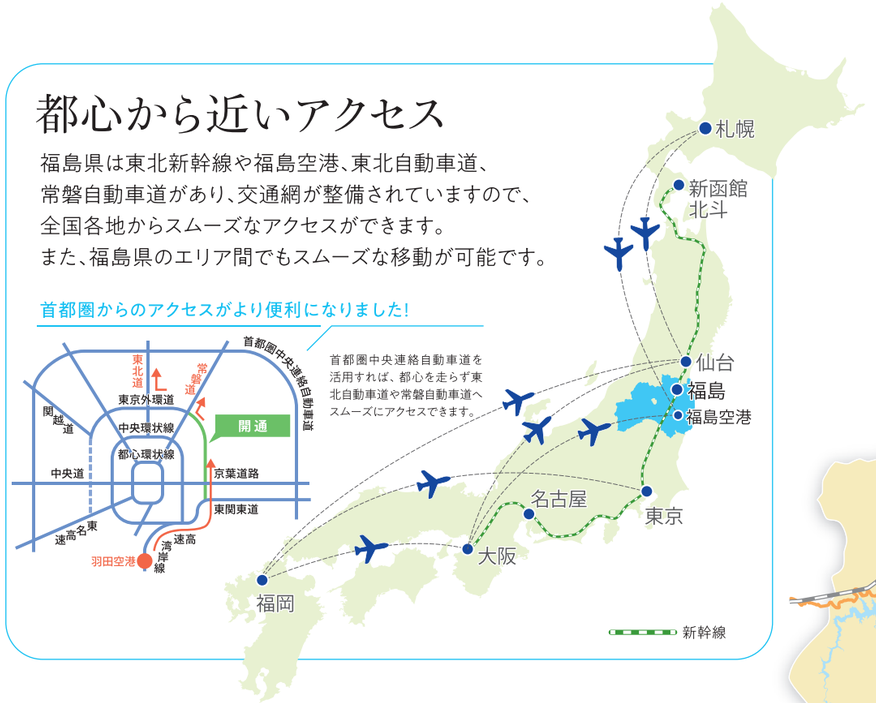
スキー学習 32

合宿 34

フィールドマップ・交通アクセス

都心から近いアクセス

福島県は東北新幹線や福島空港、東北自動車道、
常磐自動車道があり、交通網が整備されていますので、
全国各地からスムーズなアクセスができます。
また、福島県のエリア間でもスムーズな移動が可能です。



首都圏からのアクセスがより便利になりました!

県内各エリアへのアクセス時間



※掲載の地図の位置や縮尺、所要時間等は、
おおよその目安となるものです。
道路状況や、気候によって異なります。

JR東日本「東北新幹線」



最短 約80分
東京駅⇒郡山駅間

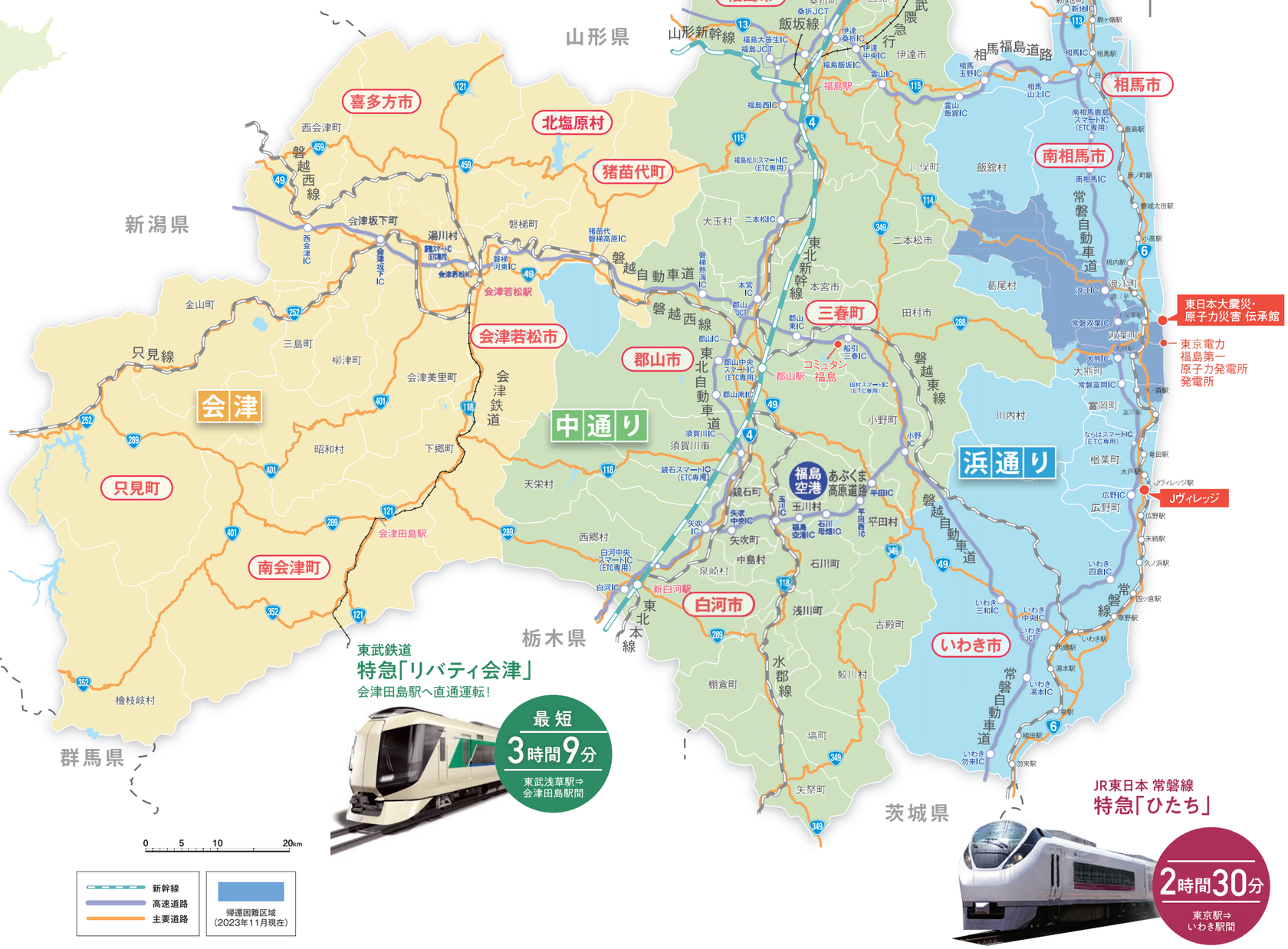
東武鉄道 特急「リバティ会津」

会津田島駅へ直通運転!

最短 3時間9分
東武浅草駅⇒会津田島駅間

JR東日本 常磐線 特急「ひたち」

2時間30分
東京駅⇒いわき駅間



主要都市からのアクセス

東京から

●電車利用
・東北新幹線
東京駅～郡山駅
（約1時間20分）
・常磐線（特急ひたち）
東京駅～いわき駅
（約2 時間30 分）

●自動車利用
・東北自動車道
川口JCT～郡山IC（約2時間25分）
・東北自動車道、磐越自動車道
川口JCT～会津若松IC（約3時間）
・常磐自動車道
三郷JCT～いわき中央IC（約2時間）
三郷JCT～常磐双葉IC（約2時間35分）

羽田空港から

●自動車利用
・東京外環自動車道、東北自動車道
空港中央IC～郡山IC（約3時間15分）
・東京外環自動車道、東北自動車道、
磐越自動車道
空港中央IC～猪苗代磐梯高原IC（約3時間35分）
・常磐自動車道
空港中央IC～いわき中央IC（約2時間40分）
空港中央IC～常磐双葉IC（約3時間15分）

仙台から

●自動車利用
・東北自動車道
仙台宮城IC～郡山IC（約1時間20分）
・東北自動車道、磐越自動車道
仙台宮城IC～会津若松IC（約1時間50分）
・常磐自動車道
仙台宮城IC～浪江IC（約1時間25分）
仙台宮城IC～いわき中央IC（約2時間5分）

仙台空港から

●自動車利用
・仙台東部、南部道路、東北自動車道
仙台空港IC～郡山IC（約1時間35分）
・仙台東部、南部道路、東北自動車道、
磐越自動車道
仙台空港IC～会津若松IC（約2時間）
・仙台東部、常磐自動車道
仙台空港IC～浪江IC（約1時間）
仙台空港IC～いわき中央IC（約1時間45分）

札幌から

●飛行機利用
・新千歳空港～福島空港（約1時間20分）

函館から

●電車利用
・北海道新幹線
新函館北斗駅～仙台駅（約2時間40分）
仙台駅～福島駅（約25分）
仙台駅～郡山駅（約40分）

大阪から

●電車利用
・東海道新幹線
新大阪駅～郡山駅（約4時間15分）
●飛行機利用
・伊丹空港～福島空港（約1時間15分）

福岡から

●飛行機利用
・福岡空港～羽田空港（約1時間30分）
羽田から電車もしくはバスを利用し福島県へ
・福岡空港～伊丹空港～福島空港（約2時間30分）
・福岡空港～仙台空港（約2時間15分）

福島空港からのアクセス

福島空港～いわき

●自動車利用
・あぶくま高原道路、磐越自動車道、常磐自動車道
福島空港～あぶくま高原道路～いわき中央IC（約50分）

福島空港～会津若松

●自動車利用
・東北自動車道、磐越自動車道
福島空港～須賀川IC～会津若松IC（約1時間5分）

ホープツーリズムとは

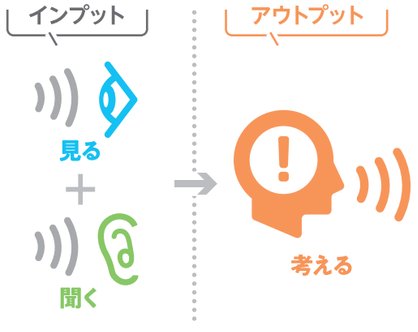
福島で感じる希望（ホープ）。それは明日の学びの原動力。

～ 震災・原子力災害の被災地域をフィールドとした新しいスタディツアー ～



世界で類を見ない「複合災害（地震・津波、原子力災害、風評被害）」を経験した唯一の場所、福島県。事実、教訓、復興への挑戦から得た学びを私たちはあえて「震災・防災学習」と呼ぶことはしません。ホープツーリズムは、複合災害の教訓等から「持続可能な社会・地域づくりを探究・創造する」福島オンリーワンの新しいスタディツアーです。

地震・津波、原子力災害、風評被害という世界で類を見ない複合災害を経験した福島の「ありのままの姿（光と影）」と、さまざまな分野で「復興に向け果敢にチャレンジする人々との対話」を通したインプット。震災・原子力災害を「福島だけのローカルな問題（他人事）」と限定化せずに、教訓等を「持続可能な社会・地域づくりの実現、日常生活、自分自身の行動変容等」の“これからの未来”に視野を広げ、自分事としてどう活かすのか探究・創造するアウトプット。この一連のプログラムにより、アクティブラーニングの手法を用いた「主体的・対話的で深い学び」を実現します。福島を学ぶことで感じる希望は、参加者一人ひとりに、これからの成長につながる「学びの種」をもたらし、「明日の学びに向かう原動力」を育みます。



ホープツーリズム 3つの特徴

見る

施設見学、フィールドワークから ありのままの姿を体感

復興に向け確かに歩み出している地域、持続可能な未来を担う新しい取り組みが始まっています。一方、長年の避難指示による地域への影響を感じる街並み、避難指示が継続中の地域……。報道だけでは伝わらない“光と影”。その光景が、福島の「今」です。

聞く

さまざまな立場・分野で復興に向け 果敢にチャレンジする人々との“対話”

地震・津波、原子力災害、風評被害……。未曽有の困難の中で、それでもなお前へ進もうと果敢にチャレンジする人々が、福島にはたくさんいます。挑戦を続ける人々との対話から、多くの刺激や気づきを得ることができます。

考える

震災・原子力災害の教訓を未来（社会・地域・日常・自分自身）にどう活かすか

まとめのワークショップでは、震災・原子力災害により顕在化したさまざまな社会課題（人口減、高齢化、地域の衰退、エネルギー問題等）は「福島だけの問題」ではなく「日本社会や地域が抱え、解決すべき問題」であるという視点に立ち、自分たちがどのような未来を創っていきたいかなどについて議論します。

持ち帰り・学びの成果

1 “もやもや感”を持ち帰る

社会課題は簡単に解決しない（“もやもや感”を持ち帰る）が、「考え続けること（探究心・自分事化）」が重要。

2 多様性の尊重と対話の重要性を学ぶ

社会課題は立場や考え方によってさまざまな意見がある。「多様性の尊重と対話の重要性」AorBの二者択一ではなく、議論によって第三の道（C）が開かれることもある。

3 「見極め力」「判断力」を身につける

情報過多の社会における「物事の本質を見極める力」や「判断力（リテラシー）」を身につける。情報とどう向き合い選択・判断するか。自分で見聞きした生の情報の重要性。

4 変化や逆境への向き合い方を学ぶ

変化や逆境への向き合い方（人生観・生き方）。
進路選択や生き方について希望と不安の狭間に立つ生徒の皆さんに、挑戦することの大切さを伝える。

福島で感じた希望。それは明日の学びの原動力 ▶▶ 参加者自身の成長へ！

［ 事　例 ］

お茶の水女子大学 附属高等学校

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）として教育プログラムにホープツーリズムを起用。「福島フィールドワーク」と題して、科学的根拠に基づいた価値判断・意思決定について継続的に学んでいます。

※同校は2019～2023年度SSHに指定されています。



広島学院高等学校 原発廃炉学

高校2年が選択するゼミのひとつ「原発廃炉学」では、原発と廃炉に関わるさまざまな立場の人々と対話。ホープツーリズムを通して、体験的な学びから視野を広げるリーダー教育を目指しています。



［ 参加者の声 ］

先　生

「福島だけの問題じゃ無い。」根本のところに気づきがあるのが教師としては一番嬉しい。

京都教育大学附属京都小・中学校

生　徒

教科書ではわからないことを学べた素晴らしい経験!

京都大学附属小学校・中学校 中学3年

生　徒

今までの自分は知る気がなかったのだと気が付いた。

神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校　2年

先　生

地域の人から話を聞く、会話する。
本当に大切な、福島でしかできない貴重な経験。

筑波大学附属駒場中学校・高等学校

［ 見る ］ 施設

東日本大震災・原子力災害伝承館



正にホープツーリズムの学びの導入拠点。館内の映像や展示などの豊富な資料から、震災・原発事故直後から現在までの経過・復興のあゆみの全体像を学ぶことができます。

地震、津波、東京電力福島第一原子力発電所事故という、世界でも類を見ない未曾有の複合災害の記録やそこから得られた教訓、そして復興の歩みを国内外に伝え、さらには将来へ引き継いでいくためにつくられた施設です。福島が経験した原子力災害を伝えること、これまでの復興の過程を収集・保存・研究し、風化させることなく後世に継承し、また世界と共有することを目的としています。館内にはさまざまな資料や実際の記録映像などが多数展示され、震災・原発事故直後から現在までの経過や復興の歩みについて学ぶことができます。



a.シアターで展示の導入となる映像を見た後、壁面の震災、原子力災害関連年表を見ながらスロープを上がる。 b.津波被害を受けた消防車を展示。 c.事故後の東京電力福島第一原子力発電所の状況をジオラマで見ることができる。d.自然に溶け込むような外観。屋上からは海側を一望できる。
所双葉町大字中野字高田39　問東日本大震災・原子力災害伝承館 0240-23-4402

震災遺構 浪江町立請戸小学校



海岸から約300mに立地。校舎は津波に呑まれ半壊しましたが、迅速な判断と避難により奇跡的に犠牲者は出ませんでした。今なお被災当時の様子がほぼそのまま残っています。

福島県では初となる震災遺構。震災の脅威や教訓とともに、地域の記憶や記録を後世に伝えるため、また、防災意識を高めることを目的として、被災当時の姿を保存しています。津波の被害が大きい1階の教室部分と体育館は限りなくそのままに近い状態で残され、校外や通路などからも見学できるよう整備されています。2階部分には震災の被害の大きさや原子力災害による避難の経緯などについて伝えるパネルのほか、訪れた人が黒板に書いた応援メッセージなどが保存されています。



a.展望台に据え付けられた時計の針は津波到達時間で止まっている。b.放置された保健室の場所を示す札。c.泥にまみれた資料も生々しく残されている。d.卒業式の看板が掛かった体育館の内部。
所浪江町請戸持平56　問震災遺構浪江町立請戸小学校 0240-23-7041

とみおかアーカイブ・ミュージアム

長い歴史の中の「あの日」を残す



「複合災害を地域の歴史に位置づける」をテーマに、東日本大震災と原子力災害により突然奪われた日常を、生活者の目線から伝えています。生じた震災遺産ともに、「あの日」を境に起きた町の変化を知ることができます。

所富岡町本岡王塚760-1
問とみおかアーカイブ・ミュージアム 0240-25-8644

東京電力 廃炉資料館

事故当時の状況や廃炉事業について公開



東京電力の情報発信施設。映像やジオラマの展示により記録を残すとともに、今後も続く廃炉の進捗状況について学ぶことができます。

所富岡町中央三丁目58番地
問東京電力 廃炉資料館 0120-502-957

浪江町営大平山霊園

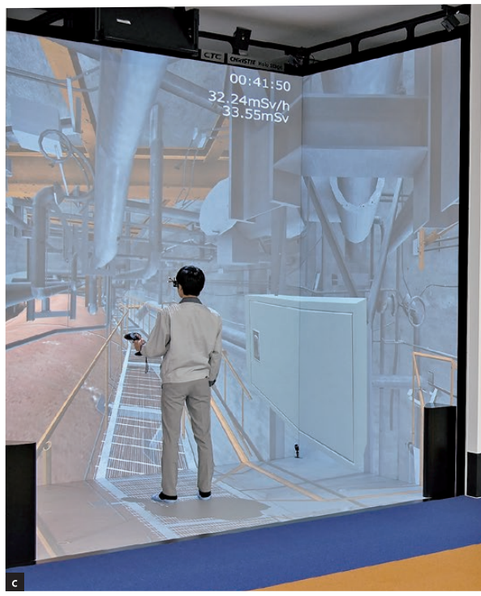
津波被害の状況を一望できる高台の共同墓地



海岸から約2km離れた高台に広がる共同墓地。請戸地区や太平洋を一望でき、津波の被害の甚大さを感じます。地震発生直後、請戸小学校の生徒が避難に向かった場所で、当時は畑が広がっていました。その後町民の希望により、震災によって亡くなったご遺族のためのお墓がつくられ、「大平山霊園」として整備されました。犠牲者への鎮魂、後世への訓戒のためにコミュニティ広場に建てられた慰霊碑とともに、震災の記憶を今に伝えています。

所浪江町請戸 問浪江町建設課 0240-34-2111（代）

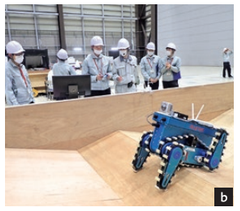
日本原子力研究開発機構 楢葉遠隔技術開発センター（NARREC）



東京電力福島第一原子力発電所の廃炉を推進するために遠隔操作機器の開発・実証実験を行う供用施設。原子炉建屋内の一部を再現したVR体験や遠隔ロボットの操作体験、試験設備の見学も行うことができます。

東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業を進めるための技術開発と実証実験を行う施設。廃炉作業の計画作成・作業訓練に活用可能なバーチャルリアリティシステムなどを備えた研究管理棟と、ロボットの試験設備を有した試験棟で構成されており、外部利用者による廃炉に向けたさまざまな実規模模擬（モックアップ）試験が行われています。遠隔技術の実証試験に必要な環境を提供するとともに、情報発信も行うことで、遠隔技術開発の中核拠点となることを目指してつくられました。





a.施設全体図。
b.ロボット等の操作体験。（有料）
c.正面、右、左、床面の4面スクリーンで立体映像を体験できるバーチャルリアリティ（VR）システム。
所楢葉町山田岡仲丸1-22
問国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 楢葉遠隔技術開発センター 0240-26-1040
写真提供：日本原子力研究開発機構

福島県環境創造センター交流棟 コミュタン福島

震災・原子力災害の概要、放射線の正しい知識、これからの福島における環境の未来について学ぶことができます。





愛称は「コミュタン福島」。放射線や環境問題を身近な視点から理解するため、福島県が設置した施設です。環境の回復への意識を深めてもらうため、模型や映像、グラフィック等により、震災と原子力災害、放射線や福島の環境の現状について展示しているほか、360度全球型シアターやホールなども備えています。コミュタン福島で得た学びや、体験から得た知識、深めた意識などを共有し、福島の未来を考え、行動するきっかけとすることが目的です。

a.東京電力福島第一原子力発電所を再現したジオラマ。 b.原発事故による放射性物質の拡散や環境回復に向けたふくしまの歩み、地球温暖化などの環境問題について課題を共有。
所三春町深作10-2（田村西部工業団地内）
問福島県環境創造センター交流棟 コミュタン福島 0247-61-5721

富岡復興メガソーラー・SAKURA

自然エネルギーが 町に光をもたらす



震災と原子力災害の影響で増えた町内の遊休農地を活用してつくられた太陽光発電所。約11万枚もの太陽光パネルを設置し、その年間発電電力量は一般家庭約9,100世帯の年間消費電力量相当にものぼります。発電所内には見晴台があり、見学が可能。売電した収益の一部を地域復興に役立てています。

所富岡町大字上手岡字大石原（下千里地内）
問福島発電（株）浜通り事務所 0240-23-5154

特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま

埋立処分事業について 体験しながら学べる



放射性物質に汚染された廃棄物等の埋立処分について学べる体験型の情報館。埋立処分事業の概要や必要性、安全対策、進捗状況などについて、「見て」「触れて」「学ぶ」ことができます。ほかにも見学だけでなく、埋立処分技術や放射線の基礎知識などが学べるさまざまな参加型イベントを実施しています。

所富岡町大字上郡山字太田526-7
問特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま 0240-23-7781

福島ロボットテストフィールド

福島の未来をつくる ロボットの開発拠点



浜通りの産業回復のための国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」により整備された、陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点。南相馬市復興工業団地内の東西約1,000m、南北約500mの敷地内に、インフラや災害現場など実際の使用環境を再現し、企業や研究機関等がロボットの性能評価や操縦訓練等を行っています。

所南相馬市原町区萱浜 新赤沼83（南相馬市復興工業団地内）
問（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構 0244-26-3431

［ 聞く ］

復興に向け果敢にチャレンジする人々

地震・津波、原子力災害、風評被害……。未曾有の困難の中で、それでもなお復興に向け果敢にチャレンジする人々が、福島にはたくさんいます。そうした人々との対話から、多くの刺激や気づきを得ることができます。

住　民



福島で、一緒に考えてみませんか？

青木（あおき）　淑子（よしこ） さん

NPO法人 富岡町3・11を語る会 代表

震災数年前に県立富岡高校校長を務める。震災後県内最大の避難先であった、郡山市の「ビッグパレットふくしま」でボランティアに携わり、2013年より語り人（かたりべ）として活動を開始。2016年に「NPO法人富岡町3.11を語る会」を設立し、自分たちの体験を自分たちの言葉で語ることで、「富岡町の震災の実際と現状」、「被災地福島の真実」を世に伝え続けている。

地域づくり



現地にしかない温度感を大切に

下枝（したえだ）　浩徳（ひろのり） さん

一般社団法人葛力創造舎 代表理事

震災後、故郷である葛尾村にUターンし、「一般社団法人葛力創造舎」を設立。葛尾村のコミュニティの崩壊を解消するため、地域コミュニティのサポートや地域の活力を支える人材の育成に取り組んでいます。また、地域の資源を活用した事業を起こすなど、事業開発を通した地域づくりにも力を入れており、人と人との結びつきを大切にした活動を続けています。

住　民



「あの日」起こったこと、住民の率直な想いを伝える

浪江まち物語つたえ隊

仮設住宅で暮らしていた浪江町民2名で結成。地域に伝わる民話・昔話をはじめ、震災・原子力災害の実話をもとに紙芝居やアニメーションを制作し、全国各地で作品の上演会や上映会を実施。ふるさとの記憶や震災・原子力災害の記憶・教訓を伝え続けています。

防災・減災



亡くならなくてもいい命を救いたい

天野（あまの）　和彦（かずひこ） さん

福島大学 人間発達文化学類　特任教授
一般社団法人ふくしま連携復興センター　代表理事

震災時東北最大級の避難先であった、郡山市の「ビッグパレットふくしま」避難所の運営責任者。避難所での支援活動の実体験を踏まえ、避難所運営シミュレーション「さすけなぶる」を開発。今後起こりうるとされる災害に備え、震災や福島の教訓を発信している。そのほか被災者の生活再建、コミュニティ形成のための支援活動などにも取り組んでいる。

原発・廃炉



福島の復興と廃炉へ向けて正しい情報を分かりやすく発信

木野（きの）　正登（まさと） さん

内閣府 廃炉・汚染水・処理水対策現地事務所
参事官

震災から約13年間、福島の廃炉と復興に尽力。廃炉・処理水、復興、エネルギー政策等、福島のあらゆる課題に精通し、科学的根拠に基づいた正しい情報を分かりやすく説明してくれます。また、県内各地で地元住民の疑問に答えるなど、対話を通して福島の復興を支えています。

エネルギー



持続可能な農業をエネルギー分野から考える

高橋（たかはし）　荘平（そうへい） さん

一般社団法人えこえね南相馬研究機構 理事長

地域再生のため、地元農家と共同し、作物を作っている農地の上に太陽光パネルを並べて発電する「ソーラーシェアリング」による半農半エネのモデルを推進。売電の副収入により農家の収入安定化を図り、持続可能な農業とエネルギーの地産地消を目指しています。

原発・廃炉



東京電力福島第一原子力発電所の今を知る

東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社

福島復興本社の職員から東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業の進捗状況、復興に向けた取り組みについて直接聞くことができます。また、一定の条件を満たす場合は、職員のアテンド付きで、東京電力福島第一原子力発電所構内を見学することができます。

［ 考える ］

フィールドパートナー（FP）

フィールドパートナーは、ツアー中のアテンド、ファシリテートを担当します。1日ごとの振り返り（リフレクション）や、最終日のワークショップなどを通し、中立・客観的な立場から、参加者とともに、学びの成果へと導く総合案内人です。



フィールドパートナー（FP）の担う役割



インプット　中立・客観的立場

- ■ 震災・原子力災害、復興に関する情報の伝達
- ■ 施設等の見学後、現地の人々との対話後の情報整理、補足説明
  - ▶ 論点の明確化、多様な視点への展開
- ■ 随所の問い立て・介入
  - ▶ 参加者の探究心や学びに向かう力を引き出す

アウトプット　振り返り・ワークショップの企画・運営

探究心・好奇心に寄り添う総合案内人

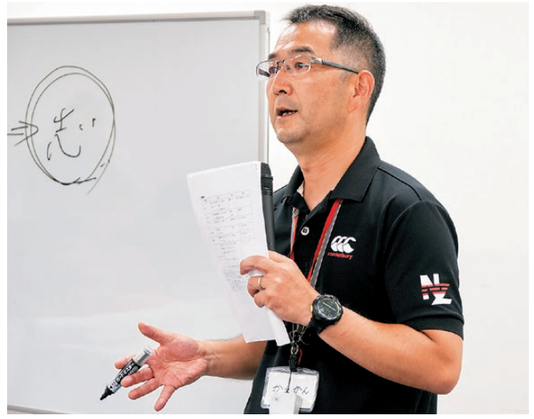


この地域で感じる想いは原動力へ

山口（やまぐち）　祐次（ゆうじ） さん

一般社団法人ふくしまリアリ　代表理事

私自身、被災した住民の一人です。避難先での生活再建を決め、震災と向き合うことが辛い時期もありました。だからこそ「この教訓は必ず活かさなければならない」という強い想いの中、自分の役割に気づき、フィールドパートナーを担当することになりました。ツアーでは“学びの空間をつくりあげる”ことが大切です。何のための学習なのか、見て・聞いて・何を感じ考えたか、どんな変化が生まれたか……。体験から得た想いは強い原動力になります。参加者一人ひとりがしっかりと自分のテーマを見つけ行動につなげるよう取り組んでいます。



参加者と共に丁寧に物事に向き合う

菅野（かんの）　孝明（たかあき） さん

一般社団法人まちづくりなみえ　事務局次長

フィールドパートナーとして、「事実を伝える」・「共に考える時間」・「考え続ける意識の醸成」を大切にしています。それを実現するために、相互理解につながる対話の場をつくることが、ホープツーリズムのフィールドパートナーの重要な役割です。
参加者は真剣な眼差しで話を聞き、感じたこと・考えたことを率直に伝えてくれます。実際に「来て、見て、感じて、共に考える」ことが、福島だけではなく、自分の地域や社会全体の未来につながります。「福島から学ぶ」場をつくり続けます。そして、私たちは参加者と共に学びに向き合う存在だと思っています。

学年行事（修学旅行・オリエンテーション等）対応プログラム

東日本大震災・原子力災害伝承館を核とした「学年行事規模の教育旅行」に対応のホープツーリズム

ホープツーリズムの基本コンセプト（見る、聞く、考える）を踏まえながら、学年行事規模の教育旅行に対応したプログラムです。東日本大震災・原子力災害伝承館で、震災・原子力災害の概要、復興の現状・課題に関する基礎知識等を学び、ツアーの意識合わせを行った上で、学びのテーマ（地域づくり、農林水産業、医療・福祉、原発・廃炉、エネルギー、環境回復、教育、新産業など）や各地域に分かれ、コース別の選択学習を行います。最後に全体の共有・アウトプットを行い、学びを深めます。

❶～❸のプログラムを取捨選択→組合わせることで、数時間～２日間のオーダーメイドの行程作成が可能

※６クラス（バス６台・240名程度）を例にして掲載

❶【共通学習】伝承館プログラム（インプット）

伝承館の一般研修プログラムで震災・原発事故、復興の全体像を把握

1.ガイダンス
※バス車内など（20分）

震災・原発事故の基礎知識の伝達、学びの意識付け

2-1 展示見学（60-70分）

映像や展示などの豊富な資料から、震災・原発事故直後から現在までの経過・復興のあゆみの全体像を学ぶ



※２～3クラスごとにローテーション

2-2 フィールドワーク（60-70分）

避難指示解除後の地域の現状・課題を五感で体感する
※バスにアテンダーが同乗し解説



2-3 語り部（住民分野）との対話（40分）

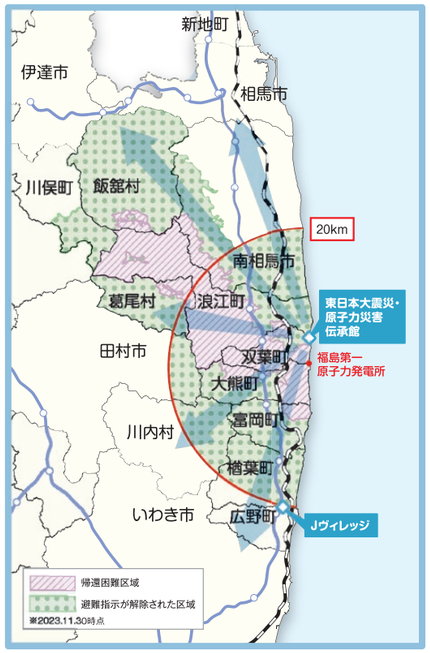
被災を経験した住民との対話から震災・原発事故の記憶や教訓、復興の現状・課題を知る



❷【選択学習】周辺地域での選択プログラム（インプット）

1~2クラスに分かれ、学びのテーマ等に応じた選択学習(コース別)を実施
(移動時間を含め、3時間程度)

- ●一定の分野（テーマ）に焦点を当て、複合災害が与えた影響、復興への挑戦を学ぶ
  - ・分野例：地域づくり、農林水産業、医療・福祉、原発・廃炉、エネルギー、環境回復、教育、新産業など
  - ・内　容：対話（各分野）+施設見学など
- ●各自治体に焦点を当て、避難指示解除の時期により復興の現状・課題が異なる地域を学ぶ
  - ・内　容：新しいまちづくりに挑戦する地域団体等との対話+フィールドワークなど



❸【共通学習】まとめのワークショップ等（アウトプット）

震災・原発事故の教訓をこれからの持続可能な社会・地域づくり等にどう活かすか考える「他人事→自分事化へ」（60分～）

- ●避難所運営シミュレーション教材
- ●復興の現状・課題から一定のテーマを設定しディスカッションを実施
- ●振り返り・まとめのワークショップ

ツアー前の「事前学習」、ツアー中の「情報整理」、ツアー後の「事後学習」をサポートする学習教材

震災・原発事故当時の状況、現在までの復興のあゆみ、現状・課題の全体像を学ぶことができる「福島のあの日からいま（教科書）」と事前学習・ツアー中・事後学習の各場面で学びを整理する「学びノート」を活用することで、生徒一人ひとりの主体的・創造的な学びをサポートします。



×



（ツアー前）**事前学習**
気づき・疑問の発見・事前調査

（ツアー中）**情報整理**
情報整理・気づき・疑問の深化・まとめ

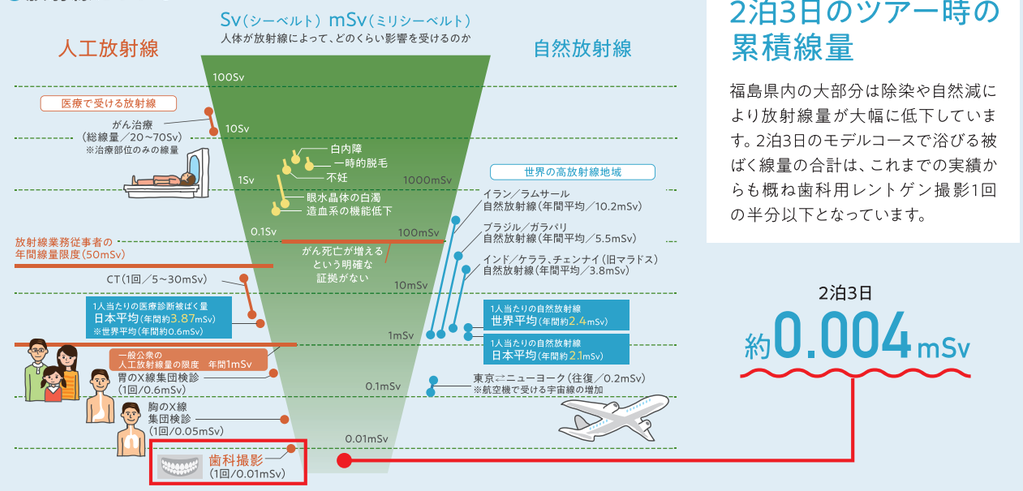
（ツアー後）**事後学習**
学びを自分事化（更なる探究・行動変容）

ホープツーリズムとさまざまな教育旅行コンテンツの組合わせが可能

ホープツーリズムは、学校の学びのニーズに合わせて、数時間から2日間程度での実施ができるため、福島県内の「歴史学習・班別自主研修、自然体験・環境学習、農業体験学習、スキー学習等」や東京都内研修などのさまざまな教育旅行コンテンツとの組合わせが可能です。



●放射線について



【注意】1）数値は有効数字などを考慮した概数　2）目盛（点線）は対数表示になっており、目盛がひとつ上がる度に10倍となる。【参考】（独）放射線医学総合研究所、（公）原子力安全研究協会「新版 生活環境放射線（国民線量の算定）」（2011年）などにより作成

2泊3日のツアー時の累積線量

福島県内の大部分は除染や自然減により放射線量が大幅に低下しています。2泊3日のモデルコースで浴びる被ばく線量の合計は、これまでの実績からも概ね歯科用レントゲン撮影1回の半分以下となっています。

2泊3日
約0.004mSv

いわきエリアで
ホープツーリズムの学びを更に深化

～エネルギー、観光、防災・減災、環境などのテーマを探究～

いわき市には、明治から昭和初期にかけて、日本の近代化や戦後復興を支えてきた国内有数の産出量を誇る「常磐炭田」がありましたが、石炭から石油へのエネルギーシフトにより、炭鉱は衰退し、産業構造の転換を迫られます。地域の活性化や労働者の雇用を守るため、炭鉱から湧出する温泉を利用したレジャー施設「常磐ハワイアンセンター（現スパリゾートハワイアンズ）」が創設されるなど、発想の転換で炭鉱業から観光業への転換に成功しました。いわきエリアでは、常磐炭鉱の産業遺産などから「エネルギーと地域・社会の関係性」を学ぶことができるほか、東日本大震災の教訓、復興の現状・課題から「防災・減災」や「海の豊かさ、海との向き合い方、環境保全など」の多角的な視点に立って学びを深めることができます。



いわき市の総合窓口はこちら! 問（一社）いわき観光まちづくりビューロー ☎0246-44-6545

首都圏発 ホープツーリズム × いわきエリア モデルコース 2泊3日

1日目

8:00 東京駅 発（貸切バス）
【楢葉町】Jヴィレッジ（食事）
見 学 国道6号（一部、帰還困難区域）通過
13:30 【双葉町】★共通学習
見 学 東日本大震災・原子力災害伝承館
伝承館の一般研修プログラム
※2~3クラスに分かれてローテーション
●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク
●研修語り部講話
18:00
宿 泊 【楢葉町】Jヴィレッジ 着
考える ★希望に応じたオプション（以下から選択が可能）
対 話 ① 振り返り【60分~】
②[防災・減災]避難所運営シミュレーション教材「さすけなぶる」【90分】
③[その他の分野] 対話【60分】

2日目

8:30 【楢葉町】Jヴィレッジ 発
見 学 ★クラス別選択学習
対 話 震災・原発事故の被災地域での「選択学習」
「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施[施設見学・対話・フィールドワーク]
考える ★共通学習
※選択学習の共有・まとめのワークショップ
17:30
宿 泊 【いわき市】
スパリゾートハワイアンズ

3日目

8:30 【いわき市】
スパリゾートハワイアンズ 発
見 学 【いわき市】
対 話 ★クラス別選択学習
① 歴史学習(白水阿弥陀堂)
②トマト栽培に関する6次産業化の取り組み・収穫体験(ワンダーファーム)
③常磐炭鉱の産業遺産フィールド学習
【いわき市】いわき・ら・らミュウ（食事）
見 学 【いわき市】
環境水族館アクアマリンふくしま
15:00 いわき勿来IC
17:50 東京駅 着

いわきエリアの教育旅行コンテンツ

スパリゾートハワイアンズ

受入人数 要相談 見学時間 要相談



石炭から石油というエネルギー革命の中で、炭鉱業から観光業にチャレンジし、地域を救ったのが、常磐ハワイアンセンター（現スパリゾートハワイアンズ）の創設でした。現在は"東北のハワイ"として全国から観光客が訪れる大型リゾート施設となり、地域の発展に貢献しています。東日本大震災で、大きな被害を受けましたが、フラガールによる「全国きずなキャラバン」を実施するなど、全国に勇気と感動を与えました。震災時、最前線で対応したスタッフの体験をもとに、防災・減災の観点から危機管理を学ぶ講話やフラダンス体験、敷地内に隠された宝をチーム対抗で探し出すチームビルディングなど、教育プログラムが充実しています。

問常磐興産㈱スパリゾートハワイアンズ
☎0570-550-550

いわき市石炭・化石館 ほるる

受入人数 要相談 見学時間 約60~120分



常磐炭田の採炭の歴史と、市内で発掘された化石や世界の化石資料を展示。地下600mまで下って坑内へ入坑する模擬坑道では、常磐炭田の採炭の様子が忠実に再現され、江戸の末期から昭和の閉山までの採掘の仕組みを学ぶことができます。※現在休館中。開館についてはホームページをご確認ください。なお、化石や炭鉱については、出張講座も行います（要相談）。

問いわき市石炭・化石館ほるる ☎0246-42-3155
URL:https://www.sekitankasekikan.or.jp/

常磐炭鉱産業遺産フィールド学習

受入人数 要相談 体験時間 約60分~要相談



本州最大の炭田として日本の産業発展を支えた常磐炭田。「いわきヘリテージ・ツーリズム協議会」のガイドが、エネルギー革命による需要減のため閉山となった「常磐炭鉱の産業遺産」を案内・解説します。エネルギーと地域社会の変遷から、これからのエネルギーのあり方を改めて考えることができます。

問いわきヘリテージ・ツーリズム協議会
☎0246-42-3155（いわき市石炭・化石館ほるる内）

いわき震災伝承みらい館

受入人数 要相談 見学時間 約30分~



東日本大震災での津波被災地である薄磯地区に立地し、パネルや映像、被災した学校の備品など多様な展示を通して、いわき市における震災の記憶や教訓が学べます。また、震災を経験した語り部が、お客様のバス等に同乗し、被災地を案内しながら、震災当時の状況や復興の様子を伝えるガイドツアー形式の講話を実施しています（語り部の講話は有料。事前の申し込みが必要です）。

問いわき震災伝承みらい館 ☎0246-38-4894

いわき・ら・ら・ミュウ

受入人数 要相談 見学時間 約30~60分



いわきの物産やレストラン、観光情報が詰まった市内最大の観光物産センター。震災時には、床上2mの津波が押し寄せ、壊滅的な被害を受けました。2階には、「3.11いわきの東日本大震災展」があり、語り部講話も実施中。実際の避難所の様子などが見学できます。

問㈱いわき市観光物産センター ☎0246-92-3701

ワンダーファーム

受入人数 約100名 体験時間 約60分



全国でもトップクラスの年間日照時間を誇るいわき市の特産品であるトマトを中心に生産・加工・販売を行う6次産業化施設。施設概要や6次産業化に関する説明を聞くことができるほか、トマトの収穫体験なども可能です。

問㈱ワンダーファーム ☎0246-85-5105

環境水族館アクアマリンふくしま

受入人数 要相談 見学時間 120分



福島県の海の大きな特徴である親潮と黒潮が出あう「潮目の海」をテーマにした水族館。約800種の多様な生物が、本来の生息環境に近い形で展示されており、自然や環境について五感で学ぶことができます。

問（公財）ふくしま海洋科学館（環境水族館アクアマリンふくしま）
☎0246-73-2525

国宝 白水阿弥陀堂

受入人数 約70名 見学時間 約60分



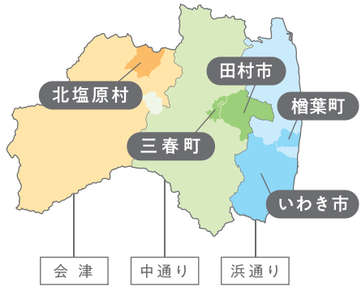
岩手県の中尊寺金色堂などと同様に東北地方に現存する平安時代の建造物の一つ。福島県内で唯一、国宝建造物に指定されています。平安時代後期の代表的な阿弥陀堂建築や浄土庭園の歴史・文化について学ぶことができます。

問白水阿弥陀堂寺務所 ☎0246-26-7008

持続可能な社会の実現に向けたヒントを学ぶ

福島県 教育旅行×探究×SDGs

SDGsの視点から、「持続可能な社会や地域づくりの実現、日常生活、自分たちの行動」について考える教育旅行プログラムを紹介します。SDGsが目指すさまざまな目標は単独で考え・解決していくものではなく、それぞれが、相互に関連性を持っています。世界的課題という広い視点で語られることの多いSDGsですが、実は、自分たちが営む何気ない日常生活や行動と深く関わっています。福島県の歴史学習・伝統文化体験、自然・環境学習、農業体験などの多種多様な学びが、「幅広い視点での課題発見・問い立て」につながり、「自分たちの行動変容等のチャレンジが、日常や地域、社会全体を変える無限の可能性を持っている」ことへの気づきと更なる探究に結び付きます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2030年までに、世界全体で取り組むべき「環境」「社会・文化」「経済」に関する包括的な開発目標です。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、17の目標と169のターゲットで構成されています。

https://www.un.org/sustainabledevelopment/

「福島県SDGs探究プログラムとは?」

福島県での教育旅行で、SDGsを体験し、探究的な視点を身に付けられるようにしたのが、「SDGs探究プログラム」です。新学習指導要領に適応した、主体的・深い学びの視点が含まれた内容となっています。

全プログラムの詳細はこちら！

福島県では、「SDGs探究プログラム」に事前・現地・事後学習を設定しています。

学びのポイント

事前学習

●各プログラムには、「事前学習」として福島県を訪問する前に、訪問先や体験内容の調べ学習を設定しています。課題や問いを準備することで、現地学習がより効果的に受けられます。

現地学習

●「現地学習」は、訪問先での活動内容を示しています。各プログラムでは、生徒に学んでほしいことや考えてもらいたいことがわかりやすく伝わるように、見学や体験の構成を組み立てています。

事後学習

●振り返りの「事後学習」では、体験したプログラムを通して得られた気づきや学びから、自分がどう変わったかを感じとることで、SDGsを自分事として捉える第一歩となるような学習の結びを設定しています。

グランデコ裏磐梯自然塾 ～五感を使って地球環境問題を学ぼう～



GOAL（関連目標） 6 13 15

北塩原村 **EN RESORT Grandeco** 問☎0241-32-2530

受入人数 同時間3クラスまで　体験時間 約120分

「地球は子孫から借りているもの」を理念に、裏磐梯の大自然を肌で感じながら地球や自然環境を考えることができる体験プログラムです。作家・倉本聰氏の全面協力・監修のもと、専属インストラクターが、地球の壮大な物語や生物の進化を分かりやすく解説。風の音や森の匂いを感じながら、地球環境問題を楽しみながら学ぶことができます。

ロハス食育環境プログラム ～Mirai Food Scenario 100～



GOAL（関連目標） 1 2 3 4

北塩原村 **メルキュール裏磐梯 リゾート&スパ** 問☎0241-32-3111

受入人数 要相談（会場の大きさによる）　体験時間 約60分

ロハスコンシェルジェの資格を持つ、ホテルスタッフが、世界的に問題になっている「フードロス」から、現状を理解し、自分たちに何ができるかを考えてもらう講話を行います。「100年後のハンバーグはどんなハンバーグ?」「食のもったいない」「命をいただく」など、身近な食事から考えるきっかけをつくります。※宿泊限定プログラム

触れる地球 ～SDGsの概要、地球規模の問題を学ぶ～



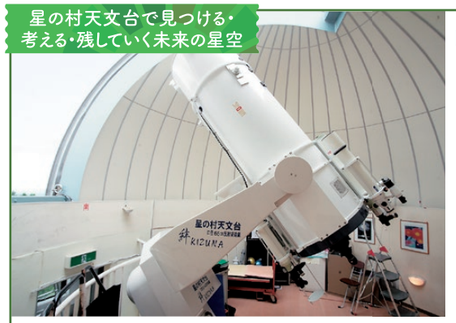
GOAL（関連目標） 6 7 12 13 14

福島県環境創造センター交流棟
三春町 **コミュタン福島** 問☎0247-61-5721

受入人数 要相談（会場の大きさによる）　体験時間 約60分

展示室にある「触れる地球」は、宇宙から見たリアルタイムの地球の姿を映し出す、次世代のデジタル地球儀です。地球規模の環境問題から、人類が今どのような課題を抱えているかを学ぶことができます。さらに、学びの進捗にあわせて選べる、ワークショップ形式のプログラム「基礎編」（SDGsの全体像を知る）と、「発展編」（持続可能な未来を創る担い手を目指す）があります。

星の村天文台で見つける・考える・残していく未来の星空



GOAL（関連目標） 4 11 12 15

田村市 **星の村天文台** 問☎0247-78-3638

受入人数 1～60名　体験時間 約30～90分

星の村天文台がある田村市は、標高が約640メートルと高く、空気が澄みきっているため、美しい星空が見られることで知られています。本プログラムは、プラネタリウムと県内最大級の大きさを誇る大型望遠鏡で星空を見ながら、「なぜ星空は見える場所と見えない場所が存在するのか」を出発点に、光害による影響やきれいな星空を将来へ残していくために必要なことを考えます。

檜葉町でさつまいもの6次化を学ぼう! ～農業体験＆日本最大級の貯蔵施設見学～



GOAL（関連目標） 2 15

檜葉町 **株式会社福島しろはとファーム** 問 E-mail fukushimafarmer@shirohato.com

受入人数 10～40名　体験時間 約60～90分

東日本大震災と原子力災害により生じた耕作放棄地の活用を目指して設立された「福島しろはとファーム」では、自動運転のトラクターやドローンなどの最先端技術を利用して、高品質なさつまいもを生産しています。事業説明をはじめ、貯蔵庫見学、さつまいもの苗植えや収穫体験を通し、震災と原子力災害の影響や復興の歩み、持続可能な農業について学ぶことができます。

館内学習「きれいな海と生き物を守ろう」



GOAL（関連目標） 12 14 15

環境水族館
いわき市 **アクアマリンふくしま** 問☎0246-73-2525

受入人数 1～200名　体験時間 講義約40分・見学約90分

同館の職員から、今、世界中で大きな問題となっている海洋プラスチックごみの現状をはじめ、それらが生き物にどのような影響を及ぼしているかを学び、きれいな海と生き物を守るために、自分に何ができるかを考えるプログラムです。私たちの毎日の暮らしの中で、プラスチックの使用や廃棄の仕方など、プラスチックとの関わり方を考えるきっかけをつくります。

※お問い合わせ・お申し込みは、直接各施設へご連絡ください。必ず各施設と日時や料金等を確認・調整のうえ、事前予約をお願いします。

歴史学習・伝統文化体験

幕末の会津の歴史等から“ありたい未来”と“ありたい自分”を創造する



国内を二分し、歴史の転換点となった戊辰戦争。会津は重要な局面となった「会津戦争」の戦場となり、江戸から明治への変遷に重要な役割を果たした地域です。少年藩士白虎隊の悲劇に象徴されるよう、「賊軍」と呼ばれてもなお、武士としての「正義」を守り、挑んだ会津藩の精神からは未来に向けて必要な視点や現代を生きる私たちが考え続けていくべき視点を学ぶことができます。「会津藩の精神から、何を感じ、自分たちはどう生きていきたいのか」。そうした問いかけから、未来に向けた大きな気づきを得ることができます。

会津若松市の総合窓口はこちら!	問(一財)会津若松観光ビューロー ☎0242-23-8000

学びのポイント

事前学習

- 幕末の日本と会津の関係性・出来事を調べる
- 戊辰戦争がどのように伝承されているか、「賊軍」と呼ばれた会津側(旧幕府軍)・「官軍」と呼ばれた新政府側の視点から調べる

現地学習

- 史跡や展示資料から会津の歴史を体感する
- 事前学習で感じたイメージと現地での学びを踏まえた変化(違和感、疑問、共感等)を整理する

事後学習

- 勝者の歴史・敗者の歴史をテーマに「情報リテラシー(情報との向き合い方・判断など)」を考える
- 転んでも起き上がる「会津の精神」から、学んだ視点を整理。これからの未来に必要な視点や自分自身の生活や生き方にどう反映していくのか「明日への提言~私たちの什の掟~」を考える

激動の転換期 幕末の会津

ペリーの黒船来航をきっかけに、200年余りに渡って鎖国を続けた江戸幕府は開国を決断。外国からの圧力に屈した幕府の求心力が衰える中、倒幕への動きが加速しました。混乱を極める幕末の大きな流れの中で、会津藩がどのように関わり、決断をしたのかについて、当時の貴重な資料やフィールドワークなどから学ぶことができます。教科書での学びが現地のフィールドを通して、「生きた学び」に深化します。

日本の主な出来事		会津の主な出来事	
		1853—1869	
嘉永	1853 ペリーが浦賀に来航		
安政	1858 日米修好通商条約調印 安政の大獄		
	1860 桜田門外の変		
		文久 1862	会津藩主・松平容保が「徳川家への忠誠」を貫き京都守護職を拝命
		1863	松平容保が近藤勇らを「京都守護職預かり」とし、壬生浪士組(みぶろうしぐみ)(のちの「新選組」)が結成
			八月十八日の政変 会津藩・薩摩藩を中心とした公武合体派が、尊王攘夷派を京都から追放
		元治 1864	**池田屋事件** 新選組が尊王攘夷派を襲撃
			禁門の変(蛤御門の変) 尊王攘夷を掲げる長州藩と、会津藩・薩摩藩を中心とする幕府勢力が、京都御所で激突
慶応	1866 薩長同盟が成立		
	1867 大政奉還 王政復古の大号令		
	1868 江戸城無血開城		
明治	1869 箱館戦争(五稜郭の戦い)		
		慶応 1868	**鳥羽・伏見の戦い** 旧幕府軍と薩摩、長州、土佐などを中心とする新政府軍が激突し、旧幕府軍が敗退。戊辰戦争が始まる
			会津戦争 会津へ侵攻した新政府軍に対し、会津藩は鶴ヶ城で約1カ月籠城するが降伏

戊辰戦争をさらに掘り下げて学ぶ

画像提供／同志社大学(新島八重)、国立国会図書館(土方歳三)

「悲運の最期の会津藩主」



会津藩主 松平容保(まつだいら かたもり)

会津藩9代藩主。戊辰戦争では藩祖の教えに従い、最後まで幕府への忠誠を守り、京都守護職時代には孝明天皇の厚い信頼を得ました。戊辰戦争後は日光東照宮の宮司を務めました。

「同志社大学の創立に尽くす」



新島八重(にいじま やえ)

会津戦争では男装し、肩に連発銃をかついで城に入り、立て籠るという男勝りの女性で、後に夫の新島襄と共に同志社大学の創立に力を尽くしました。

「旧幕府軍として最後まで戦い抜く」



新選組副長 土方歳三(ひじかた としぞう)

新選組副長。京都守護職だった松平容保のもと、京都の治安維持にあたりました。鳥羽・伏見の戦いで敗れた後も、旧幕府軍の司令官の一人として会津や箱館(函館)に転戦。旧幕府軍の榎本武揚らと箱館五稜郭を占領しましたが、新政府軍との戦闘で榎本は降伏。土方は戦死し、戊辰戦争は終結しました。

MAP 1 鶴ヶ城

受入人数 要相談　見学時間 約60~90分



難攻不落の名城、会津若松市のシンボル

会津戦争では、約1ヶ月に及ぶ籠城戦が繰り広げられ、新政府軍の猛攻にも耐えた名城です。天守閣の内部は郷土博物館になっており、貴重な文化遺産の展示から歴史を読み解く力を養うことができます。

問鶴ヶ城管理事務所 ☎0242-27-4005
所福島県会津若松市追手町1-1 休通年
時8:30~17:00(最終受付16:30) ¥入館料:鶴ヶ城天守閣・茶室麟閣共通券 大人520円、小中学生150円 [団体①(30~99名)]大人460円、小中学生135円 [団体②(100名以上)]大人410円、小中学生120円 ※鶴ヶ城天守閣のみ 大人410円
交JR磐越西線会津若松駅からまちなか周遊バスハイカラさんで約20分「鶴ヶ城入口」下車徒歩約5分、磐越自動車道会津若松ICから車で約15分

MAP 2 會津藩校日新館

受入人数 要相談　見学時間 約60~90分



「ならぬことはならぬ」の精神が学べる全国有数の名門藩校

1803年、人材育成を目的に建設された会津藩の最高学府。屈指の名門藩校として、新島八重の実兄・山本覚馬や白虎隊の少年たちをはじめ、多くの優秀な人材を輩出しました。当時の施設を忠実に復元した現在の日新館では、当時の学習の様子を見学できるほか、弓道や坐禅体験も可能。「ならぬことはならぬ」に象徴される会津武士の“心構え”や当時の武士の生き方を学ぶことができます。

問會津藩校日新館 ☎0242-75-2525 所福島県会津若松市河東町南高野字高塚山10 休通年 時9:00~17:00(最終受付16:00) ¥入館料:大人850円、中高生550円、小学生500円 団体:大人750円、中高生500円、小学生450円 交JR磐越西線会津若松駅から会津バスで約30分、磐越自動車道会津若松ICから車で約10分又は磐梯河東ICから車で約5分

Topic:「什の掟」とは



会津藩の子どもたちが10人前後で1組となり、遊びや会話を通して、社会人の基本を教え合う中で定められた、7箇条のルール。年長者への礼儀や仲間とのかかわり方を説く「什の掟」には、人が人らしく生きるための信条と知恵が詰め込まれています。

MAP 3 飯盛山

受入人数 要相談　見学時間 約60~120分　詳しくはこちらへ 問飯盛山観光案内所 ☎0242-33-6030

戊辰戦争に散った、白虎隊の霊が眠る地

白虎隊の悲劇の舞台として知られる飯盛山。城下町を一望できる小高い山で、自刃した白虎隊が眠る白虎隊十九士の墓や、国指定重要文化財のさざえ堂など、数多くの史跡が残っています。





Topic:白虎隊とは

幕末期、会津藩の軍制で数え16~17歳の藩士子弟で編成された組織。会津戦争に参戦しましたが、飯盛山から砲煙に包まれた城下を見て、城が陥落したものと思った少年たちは自決を決めました。

MAP 4 鶴ヶ城会館

受入人数 人数問わず
見学時間 約30~60分



鶴ヶ城の入口にあるレストハウスとして、会津や福島県の特色あふれる商品がそろいます。斑別自主研修の出発・集合場所としても便利です。

問㈱鶴ヶ城会館 ☎0242-28-2288

MAP 5 福島県立博物館

受入人数 要相談
見学時間 約60~120分



福島県の歴史や文化、自然を実物や複製品等の約3,700点の資料によって紹介している総合博物館です。ご希望に応じた学習プログラムも実施しています。

問 福島県立博物館 ☎0242-28-6000

MAP 6 会津武家屋敷

受入人数 要相談
見学時間 約60分



会津藩家老・西郷頼母邸を中心に、陣屋や茶室、精米所などが建ち並び、サムライ文化に触れて頂けます。弓道・絵付け体験・お買い物も楽しめます。

問 会津武家屋敷 ☎0242-28-2525

MAP 7 国指定重要文化財 旧滝沢本陣

受入人数 要相談
見学時間 約15~30分



会津戦争の際、藩主・松平容保が陣を敷き、白虎隊士が出陣の命を受けた場所。建物には弾痕や刀傷があり、当時の戦いのすさまじさを現代に伝えています。

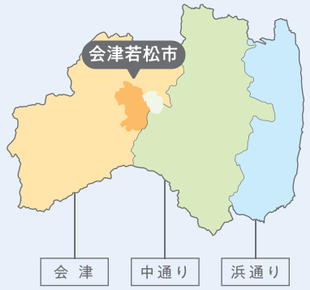
問 旧滝沢本陣 ☎090-7334-9277

班別自主研修に最適なフィールド

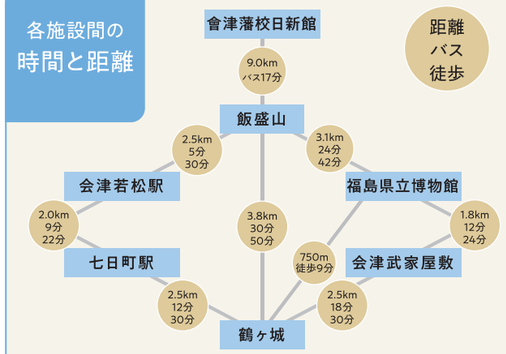
会津若松市中心市街地

まち歩きMAP

城下町として発展してきた会津若松市は、鶴ヶ城を中心に班別自主研修に最適です。コンパクトな街並みには、先人が築いた歴史と伝統が詰まっており、テーマに沿った多様な学びを効率的に実現できます。市民ぐるみで教育旅行のサポートを行っており、安心・安全な受入体制を整えています。



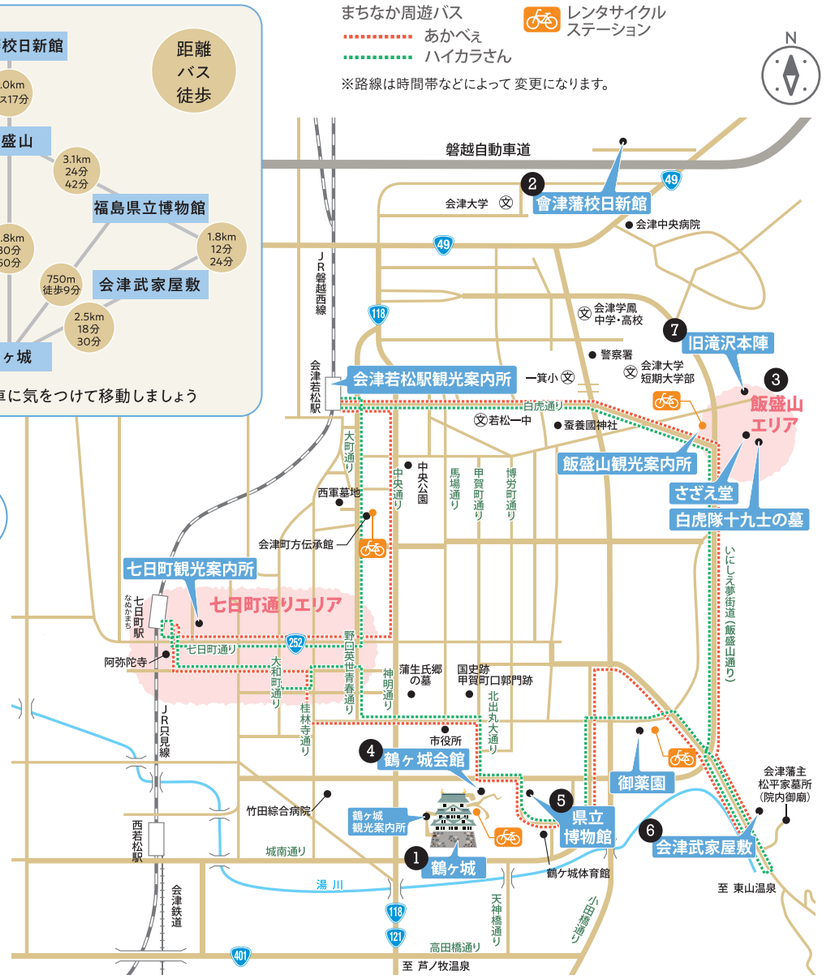
各施設間の時間と距離



班別モデルコース

会津藩・白虎隊ゆかりの地をめぐる　約4～5時間

START
鶴ヶ城　発
↓ ハイカラさん　約18分
会津武家屋敷
↓ ハイカラさん　約11分
旧滝沢本陣（飯盛山下バス停）
↓ 徒歩　約5分
飯盛山入口
↓ あかべえ　約30分
鶴ヶ城会館　着
GOAL



［市内交通］周遊バスのほか、貸切タクシーの利用も便利です。

まちなか周遊バス　あかべぇ



JR会津若松駅を起点として右回りの周遊バス。
🕘会津若松駅発:9:30～16:30（約60分間隔の運行）

まちなか周遊バス　ハイカラさん



JR会津若松駅を起点として左回りの周遊バス。
🕘会津若松駅発:9:00～17:00（約60分間隔の運行）

貸切タクシー

常務員が運転とガイドを務め、離れた見学先でも安全に効率的に回ることができます。
🚕あいづタクシー ☎0242-38-1234
会津交通（若松タクシー）☎0242-26-6655

🚌会津乗合自動車若松営業所 ☎0242-22-5555　¥一回乗車 大人・中学生210円（小学生110円）、1日フリー乗車券600円（小学生300円）

※2023年4月以降の運行時間は変更になる場合があります。最新の運行状況は会津バスのホームページでご確認ください。（2023年12月現在）

学びのポイント

事前学習
- 会津若松市の城下町としての成り立ちを調べる
- 情報の収集（寺社、文化施設、交通手段など）を行い、テーマに基づいたコースを作る
- 興味を持った会津の伝統的工芸品がどのように生まれ、発達したかを調べる

現地学習
- 街並みや歴史的建築物を見学し、保存継承する意義を考える
- 伝統的工芸品ができるまでの工程を学び、自分の手で作品を完成させる。職人にやりがいや苦労などを質問する
- 班別自主研修で社会性・自主性を身に付ける

事後学習
- 歴史的悲劇があった会津若松市は、なぜ全国有数の観光地になり得たのか調べる
- 自分が暮らす地域を見つめ直し、地域の成り立ちや魅力を探究する
- 地元の伝統的工芸品を調べ、保存継承する意義を考える

班別自主研修中に「ものづくり体験」や「食文化体験」を取り入れることで、
地域の方々と交流が生まれ、体験的な学びを深めることができます。

会津が育んだ 伝統的工芸品

豊臣秀吉の命で会津領主となった蒲生氏郷は、会津のまちづくりとともに商工業の振興に尽力。漆器や酒造などの産業を興し、現在の会津若松市の基礎を築きました。適した気候や風土のもと、職人の高度な技術が途切れることなく受け継がれてきた会津では、ものづくり体験を通して職人との対話や交流も可能です。また、伝統的工芸品を現代風にアレンジした手ごろな商品が登場するなど、時代のニーズに調和した"継承の形"に触れることができます。



赤べこ

会津の伝統的な張り子玩具。平安時代に蔓延した疫病を払った赤い牛が由来です。縁起のよい郷土土産として愛されています。



体験　受入人数 要相談　体験時間 約30～60分

赤べこに自由に色を付けて世界に一つだけの作品を作ることができます。



起き上がり小法師

転んでもすぐに立ち上がることから、「七転八起」の強い精神が伝わる小法師。東日本大震災の復興のシンボルとしても注目された縁起物です。



体験　受入人数 要相談　体験時間 約30～60分

表情豊かな顔を描いて、自分の思いを形に表現しましょう。



会津絵ろうそく

ろうそくに、鮮やかな菊や牡丹などの花を描いた会津絵ろうそく。会津の産業として漆器とともに日本中でその品質のよさが知られています。



体験　受入人数 要相談　体験時間 約60分

細い筆1本を使い、神経を集中して丁寧に描いていきます。



会津漆器

会津地方では、材料となる樹木と漆が豊富に産出され、日本の伝統工芸に指定されている会津漆器など、漆器作りが盛んです。



体験　受入人数 要相談　体験時間 約60～90分

美しい蒔絵で有名な会津塗。筆に漆を付けて文様を描き、漆の上に金属粉や色粉を蒔きつける体験ができます。

会津の 食と文化

四方を山々に囲まれ、海から遠く、冬は雪の影響を受ける会津地方。会津特有の気候・風土から、会津ならではの食文化が生まれました。伝統の郷土料理に加え、値段も手ごろな"当地ゆかりの「B級グルメ」"も班別自主研修中の昼食として人気です。地理や自然環境と、地域との関連を調べることで、食文化についても学びが深まります。

こづゆ



冠婚葬祭には欠かせない郷土料理。干し貝柱の風味豊かなだしがおいしい具だくさんの汁物で、現在も各家庭で作られています。

にしんの山椒漬け



みがきにしんと山椒の葉を交互に重ね、酢と酒、醤油で漬け込んだ伝統食。保存に優れ、当時貴重だった魚をおいしく長持ちさせる目的があるといわれています。

ソースカツ丼



会津では大正時代から親しまれてきた庶民の味。会津米のごはんに千切りキャベツを乗せ、その上にソースに浸した揚げたてのカツを乗せて食します。

会津カレー焼きそば



ソース焼きそばの上にカレーをかけるボリューム満点なメニュー。店によって、トッピングが異なるなどバリエーションが楽しめます。

自然体験・環境学習

持続可能な自然と人間の共生を考える



1888年の磐梯山噴火は、大きな被害をもたらした一方、桧原湖や五色沼などの湖沼群を形成し、美しい自然が織りなす景観をもたらしました。大自然でのアクティビティはもちろん、自然がもたらす「脅威」と「恵み」の二面性を体験することで、防災の視点だけではなく、持続可能な自然と人間との共生への気づきと学びを得ることができます。

北塩原村 猪苗代町 磐梯町の総合窓口はこちら!

- 問裏磐梯観光協会 ☎0241-32-2349
- 問(一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048
- 問磐梯町観光協会 ☎0242-74-1214 (磐梯町商工観光課内)

学びのポイント

事前学習

- 磐梯山噴火について調べる
- 磐梯山噴火がもたらした「脅威」と「恵み」について調べる
- 裏磐梯エリアの地質、植物、動物などについて調べる

現地学習

- 火山の脅威を学び、防災意識を高める
- 多様な生態系に触れ、自然環境の成り立ちや保全の取り組みを学ぶ
- アクティビティ体験を通して、仲間との絆と達成感を味わう

事後学習

- 持続可能な自然と人間との共生について、環境保全と経済発展の両面から考える
- 自分が暮らす地域で起こりうる自然災害について調べ、防災対策を考える

自然体験

五色沼自然探勝路の散策

磐梯山の北側に広がる裏磐梯には、磐梯山の噴火で生まれた湖沼群が点在しています。五色沼は、毘沙門沼をはじめとする探勝路沿いの多くの沼の総称で、神秘的なエメラルドグリーンやコバルトブルーに輝く沼をめぐるトレッキングコースが整備されています。専門ガイド付きの散策（有料）では、湖沼群の成り立ちや生態系の変化、自然を楽しむためのマナーも学ぶことができます。



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター
磐梯山を中心とした自然について解説する施設。



問裏磐梯ビジターセンター ☎0241-32-2850



柳沼（五色沼自然探勝路）

五色沼自然探勝路コースガイド

歩行距離 3.8km　歩行時間 1時間30分

START 裏磐梯ビジターセンター ＞徒歩10分＞ 毘沙門沼 ＞徒歩25分＞ 赤沼 ＞徒歩3分＞ みどろ沼 ＞徒歩18分＞ 弁天沼 ＞徒歩4分＞ るり沼 ＞徒歩3分＞ 青沼 ＞徒歩5分＞ 柳沼 ＞徒歩3分＞ GOAL 裏磐梯物産館

※裏磐梯物産館からスタートしても楽しめるコースです

自然体験

磐梯山登山

磐梯山は福島県を代表する名山です。磐梯山の北側では明治の噴火による火口壁や噴気など、火山の荒々しい姿を見ることができます。6 つの登山口を備えており、児童や生徒たちの体力や人数に合わせ最適なコースを選択することができます。仲間と励まし合いながらあきらめずに頂上を目指す体験は、自らの成長や達成感を味わうことができ、自然相手のさまざまな変化を前向きに受け止める力を養います。

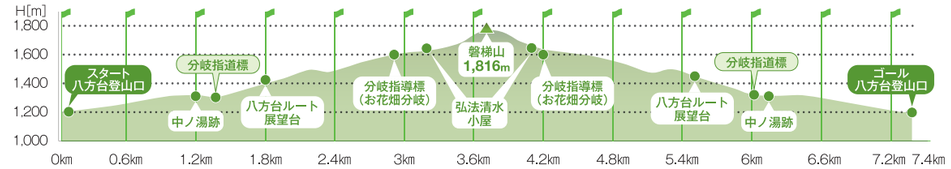


Data

日本百名山
磐梯山

- 標高 1,816m
- 標高差 622m
- 歩行距離 7.4km
- 歩行時間 4時間
- 登山口 八方台登山口 / 下山口 〃
- 日程 日帰り
- 最適時期 5月下旬～10月下旬

八方台登山口コース（一例）



磐梯山ジオパーク協議会

2011年、磐梯山は東北で初めて日本ジオパーク地域に認定されました。ジオパークガイドの紹介を行っており、磐梯山の火山活動を通して、人と大地の共生を興味深く学ぶことができます。

問磐梯山ジオパーク協議会
☎0241-32-3180

磐梯山ジオパーク
BANDAISAN GEOPARK
磐梯山ジオパークは福島県・猪苗代町・磐梯町・北塩原村で構成しています。

カヌー・カヤック体験



受入人数 要相談
体験時間 約60～120分
時期:5月～10月

裏磐梯の大自然をフィールドに、公認ガイドの指導で楽しく学ぶことができるカナディアンカヌーやカヤック体験。仲間と力を合わせることの大切さや、達成感を感じることができます。

見学施設 **周辺の教育旅行コンテンツ**

磐梯山噴火記念館



受入人数 要相談
見学時間 約30分
講話時間 約60分
見学+講話 約90分

磐梯山周辺の火山活動や自然について学ぶ博物館です。磐梯山の地形や、歴史、自然、大爆発について、地形模型や映像、被害の記録資料から知ることができます。自分が暮らす地域の自然災害に対する防災意識を高めます。

問磐梯山噴火記念館 ☎0241-32-2888



館長　佐藤 公さん

「磐梯山の岩なだれ」とは?

磐梯山では、日本で100年に1回程度しか発生しない「岩なだれ」という噴火が起き、小磐梯という山一つを北側に崩しました。その際に、河川をせき止め誕生したのが、五色沼をはじめとする美しい湖沼群で、火山は災害を発生させると同時に美しい景色も作ります。

野口英世記念館

受入人数 人数問わず
見学時間 約50分



猪苗代町出身の世界的な細菌学者・野口英世の生涯と業績を分かりやすく紹介する博物館。楽しみながら学べる細菌の世界の展示では、映像やゲームなどを使って細菌の基礎知識を学ぶことができ、科学のおもしろさの発見につながります。

問(公財)野口英世記念会
☎0242-85-7867

国指定重要文化財 天鏡閣

受入人数 約100名
見学時間 約50分



1907年、有栖川宮威仁親王殿下が東北地方をご旅行中、猪苗代湖畔の風光を賞美し、翌年御別邸を建設されました。ルネッサンス風の様式の本館は格調高く、洗練された意匠を持ち、歴史ある趣を体感できます。

問(公財)福島県観光物産交流協会
天鏡閣 ☎0242-65-2811

農業体験・農家民泊

普段味わえない暮らしの中で、“新しい価値観”に出合い、視野を広げる



農業が盛んな福島県では、農作業や農家の生活を体験できる農業体験・農家民泊の受け入れが充実しています。農村の成り立ち、昔ながらの暮らし、食文化、人々との触れあい・交流を通して、豊かな人間性（思いやり、協調性、自立心）を育むことはもちろん、自然と食の関係性や安全性、持続可能な農業、地域づくり、都市部と地方の新しい関係づくりなど、“新しい価値観”への気づきを得ることができます。

学びのポイント

事前学習

- 農業体験・農家民泊をする地域を調べる（気候、歴史、産業など）
- 日本の農業の現状や課題を調べる
- 農家の生活を想像し、質問事項をまとめる

現地学習

- 農家はどのような苦労を乗り越え農作物を作っているのかを知る
- 収穫した食材を使って食事を作り、食卓を一緒に囲む。質問をしながら交流する
- 農村の生活の知恵を学び取る

事後学習

- 農村の生活の知恵から日常生活に活かせる視点をまとめる
- 自分たちの地域の農業の現状・課題と比較して考える
- 食の安全性や持続可能な農業、都市部と地方の新しい関係づくりについて、社会全体や日常生活に視野を広げて考える

福島県の農家民泊、ここに注目！



地域の方と郷土料理作り



初めてのかんじきに挑戦！

地域ぐるみによる安心・安全な受入体制

福島県の農家民泊は、多くが行政・地域と連携し、受入組織を設けています。受入農家は、学校が求める教育的な効果を理解した上で登録・協力しており、安全対策を講じています。食物アレルギー等の事前調査や、緊急時の連絡体制を徹底し、安心・安全な受入体制が整っています。

地元タクシードライバーの案内による巡回

喜多方での農業体験、農家民泊では、先生方が受入農家で過ごす児童生徒の様子を確認できるよう、地元タクシーによる巡回支援を実施しています（オプション）。
ドライバーは各農家を熟知しており、効率的に案内・巡回ができます。
問（一社）喜多方観光物産協会 グリーン・ツーリズムサポートセンター ☎0241-24-4488

雪国生活（民泊）体験もできる!

福島県屈指の豪雪地帯である南会津では、地域の家庭に民泊し、一緒に「雪国生活体験」ができるプログラムを用意しています。雪かきや、かんじきを履いて雪に埋もれないように歩いてみたり、かまくらを作ったり、雪国ならではの体験をします。
問南会津農村生活体験推進協議会（みなみあいづ観光）☎0241-62-2250

農家民泊とは？

受け入れ後の過ごし方はそれぞれの家庭で異なります。
また天候によって体験内容が変更になる場合があります。
※到着時間に合わせて、午後から開校式を行うことも可能です。

1日目

10:30	開校式	農家の方々と対面します。全体で説明を受けた後、歓迎のあいさつがあり、その後各農家へ移動します。
11:00	昼食（準備・食事・片付け）	農家の皆さんが育てた食材を使って、昼食を一緒に作ります。
13:00	農作業	農家の皆さんの指導で、農家の作業内容を学び体験します。
17:00	夕食（準備・食事・片付け）	自分たちで収穫した、採れたての食材を使った料理が食卓に並びます。
20:00	団らんの時間	家族の一員として、交流します。

2日目

9:00	農作業	
11:00	昼食（準備・食事・片付け）	
13:30	閉校式	農家の方々へ感謝の気持ちを伝える閉校式を行います。



開校式



昼食



農作業

体験作業スケジュール

	品目・作業内容	5月	6月	7月	8月	9月	10月
やさい	野菜種まき・苗の定植	■					
	野菜支柱※立て・わら敷き作業		■	■			
	野菜収穫・選別作業			■	■	■	
	アスパラガスの収穫	■	■	■	■	■	■
こめ	田植え	■					
	水田の雑草取り		■	■			
	稲刈り					■	■
くだもの	リンゴの摘果※	■	■				
	柿の摘果		■				
	リンゴの葉摘み						■
	柿の葉摘み						■

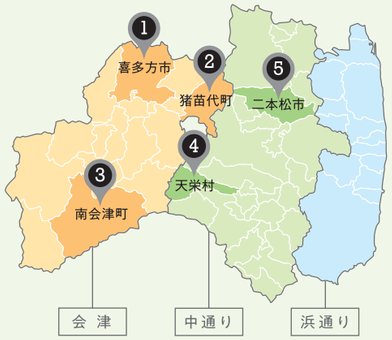
※支柱…苗が倒れないように支える棒
※摘果…余分についた実を取り除くこと

農作業に加えて、赤べこ絵付け体験や竹細工作り、そば打ち体験などを組み入れることができます!

情報提供:（一社）喜多方観光物産協会 グリーン・ツーリズムサポートセンター

ふくしまで
農業体験・農家民泊ができるところ

福島県には、教育旅行で農業体験・農家民泊を受け入れているエリアが主に5カ所（猪苗代町、南会津町、喜多方市、二本松市、天栄村）あり、問い合わせをはじめ、申込、調整、手配までワンストップで対応しています。



MAP 1 喜多方市 きたかたし

喜多方観光物産協会 グリーン・ツーリズム サポートセンター

受入人数 ●農業体験:200名 ●農家民泊:100名 時期:5月～10月



福島県の北西部、会津盆地の北部にある喜多方市。西に飯豊連峰、東には雄国山麓が裾野を広げる豊かな自然に恵まれた地域です。豊富な伏流水と肥えた土壌、昼夜の寒暖差により、稲作を中心に農業が盛んで、産地自慢のグリーンアスパラガスは全国トップクラスの生産量を誇ります。また、多くの受入農家が市内中心部から約20~30 分とアクセスがよい地域にあるため、農業体験・農家民泊と市内班別自主研修を組み合わせることが可能です。※人数や時期についてはご相談ください。

問(一社)喜多方観光物産協会
グリーン・ツーリズムサポートセンター ☎0241-24-4488

周辺の教育旅行コンテンツ

蒔絵体験

受入人数 2名～ 体験時間 約60分～



蒔絵とは、漆器の表面に漆で絵を描き、金銀の金属粉や色粉を蒔つける日本独自の工芸技術。喜多方市内の漆器店では、漆器の蒔絵や風鈴への絵付けなど、さまざまな体験ができます。

問 木之本漆器店 ☎0241-23-1611
㈲北見八郎平商店 ☎0241-22-0711

古代文字ミステリーウォーク

受入人数 人数問わず 見学時間 約60~120分



「漢字のまち喜多方」には、約3,000年前に作られた漢字のルーツ・古代文字を使用した看板を掲げた店舗が多くあります。ミステリーマップとヒントをもとに、楽しく散策しながら漢字の語源を学ぶことができます。

問（一社）喜多方観光物産協会
グリーン・ツーリズムサポートセンター ☎0241-24-4488

せんべい炭火焼き体験

受入人数 15名 体験時間 約30分



炭火を使ってふっくらと香ばしいせんべいを焼いて、あつあつの焼きたてをその場で味わうことができます。

問 山中煎餅本舗 ☎0241-22-0004

MAP 2 猪苗代町 いなわしろまち

いなわしろ体験学習推進協議会

受入人数 ●農業体験:200名
時期:4月～2月末

磐梯山と猪苗代湖に囲まれた猪苗代町では、会津若松市や裏磐梯にも近いことから、行程に合わせて農業体験を取り入れることができます。田植えをはじめ野菜やブルーベリーの収穫、郷土料理作りを通し、命を支える食べ物への関心を高めます。

ブルーベリー摘み取り

受入人数 100名
体験時間 30分 時期:7月～8月



摘みたてが一番甘くおいしいブルーベリー。食べ放題のほか、自分で摘んだブルーベリーを使いジャム作り体験もできます。

雪下キャベツ収穫

受入人数 20名（要相談）
体験時間 90分 時期:1月中旬～2月末



甘み・うまみが凝縮された、猪苗代町のブランド野菜「雪下キャベツ」。雪の下に貯蔵されたキャベツを掘り起こし、収穫する体験ができます。
※生育状況により体験できない場合があります。

郷土料理「菱巻き」作り

受入人数 60名
体験時間 120分 時期:4月～11月



会津地方の郷土料理「菱巻き」は、笹の葉でもち米を包んで茹で、甘いきな粉を付けて食べます。体験を通して食文化を学ぶことができます。

問いなわしろ体験学習推進協議会（一社）猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

MAP 3 南会津町 みなみあいづまち

南会津農村生活体験推進協議会

受入人数 ●農家民泊:80名
時期 農作業:4月中旬～11月中旬 雪国生活体験:1月中旬～3月中旬
※気候により異なる場合があります。



福島県の南西部の高原地帯に位置する南会津地方では、豊富な雪解け水と昼夜の寒暖差を活かして、地域を代表する特産物「南郷トマト」をはじめとした品質の高い農作物を生産しています。昔ながらの農家が多く、素朴であたたかい田舎の暮らしと農作業が体験できるのが特徴です。学校の授業では得られない体験が心の変化へとつながり、豊かな感性を育むことができます。

体験学習

林業体験



受入人数 要相談
体験時間 約180分

ノコギリやなたを使い、間伐や草刈りを体験。正しい道具の使い方と林業の役割について学びます。

渓流釣り体験



受入人数 要相談
体験時間 約180分

清流で育ったイワナやヤマメを釣る体験を通して、生き物を捕まえること、命をいただく意味を考えることができます。

ジップライン



受入人数 要相談
体験時間 120分

森の中に張ったワイヤーを滑車で滑り降りるアクティビティ。チーム全員で力を合わせることの大切さを学びます。

問南会津農村生活体験推進協議会（みなみあいづ観光） ☎0241-62-2250

周辺の教育旅行コンテンツ

尾瀬国立公園

受入人数 要相談 体験時間 約4~5時間



2007年、国立公園に指定されました。日本の自然保護発祥の地といわれるほど先進的な活動が行われており、専門のガイド（有料）と、持続可能な自然環境について深く学ぶことができます。

問尾瀬檜枝岐温泉観光協会
☎0241-75-2432

国選定重要伝統的建造物群保存地区 大内宿

受入人数 要相談 体験時間 約60分



江戸時代の面影を今に残した街並み「大内宿」で歴史を活かしたまちづくり学習ができます。ガイドと一緒に歩き、多くの観光客を惹きつける魅力を知ることで、地域の観光活性化のヒントを得ることができます。

問(一財)下郷町観光公社
☎0241-67-2416

国指定天然記念物 塔のへつり

受入人数 人数問わず 体験時間 約60分



へつりとは地元の言葉で「がけ」のこと。凝灰岩などの地層が、100 万年もの歳月をかけて浸食と風化を繰り返し見事な景観が生まれました。自然の神秘を間近で感じることができます。

問下郷町観光協会
☎0241-69-1144

東北電力奥会津水力館 みお里 MIORI®

受入人数 要相談 見学時間 約60~150分



アートや映像など多彩な展示を通じて、水力発電の仕組みや只見川水系における電源開発の歴史、水力発電をはじめとする再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みが学べます。

問東北電力奥会津水力館 みお里
☎0241-42-7771

MAP 4 天栄村 てんえいむら

天栄村ふるさと夢学校

受入人数 ●農業体験:120名 ※体験内容により変動あり
●農家民泊:20名 ※ペンション、旅館分泊可能（最大:300名）
時期:通年

天栄村は、ブランド米である「天栄米」の稲作を中心とした農業が盛んな地域。農業体験と村内にあるブリティッシュヒルズでの英国文化体験との組み合わせや、自然学習、SDGs学習、防災をテーマにしたプログラムなど、多彩な学びが充実しています。



問(一社)天栄村ふるさと夢学校 ☎0248-94-2232

MAP 5 二本松市 にほんまつし

ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会

受入人数 ●農業体験:100名 ●農家民泊:80名 時期:5月～10月

二本松市東和地区は、福島県中通り北部の阿武隈山系にあり、いくつもの小さな里山に囲まれた中山間地域です。昔、養蚕が盛んだったことから、農薬を使わずに農業に取り組んできた農家が多く、現在も多くの農家が有機農業に力を入れています。収穫体験や受入農家との交流から、安心安全な農作物をどのように育てているか、食を生み出す環境の大切さも学べます。



問NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会 ☎0243-46-2116

歴史学習・伝統文化体験 モデルコース

歴史学習・伝統文化体験

宮城県 発　1泊2日

1日目

	学校　発（貸切バス）
8:30	仙台宮城IC
11:00	【会津若松市】鶴ケ城会館
見 学	【会津若松市】鶴ヶ城
見 学	【会津若松市】班別自主研修
体 験	※赤べこ、絵ろうそく絵付け体験など
見 学	【会津若松市】飯盛山
17:30	
宿 泊	【会津若松市】東山温泉

2日目

8:30	【会津若松市】東山温泉　発
見 学	【会津若松市】會津藩校日新館
	【猪苗代町】野口英世記念館
	【猪苗代町】（食事）
13:30	
見 学 対 話	【北塩原村】五色沼散策（ガイド付き）
15:30	猪苗代磐梯高原IC
17:40	仙台宮城IC
	学校　着

歴史学習・伝統文化体験 × ホープツーリズム

プラン1　東京都 発　2泊3日

1日目

8:00	東京駅　発（貸切バス）
	【檜葉町】Jヴィレッジ（食事）
見 学	国道6号（一部、帰還困難区域）通過
13:30	【双葉町】★共通学習
見 学	東日本大震災・原子力災害伝承館 伝承館の一般研修プログラム ※2~3クラスに分かれてローテーション ●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク → ●研修語り部講話 ←
18:00	
宿 泊	【檜葉町】Jヴィレッジ　着
考える	★希望に応じたオプション〈以下から選択が可能〉
対 話	①振り返り【60分~】 ②[防災・減災]避難所運営シミュレーション教材 「さすけなぶる」【90分】 ③[その他の分野] 対話【60分】

2日目

8:30	【檜葉町】Jヴィレッジ　発
見 学	★クラス別選択学習
対 話	震災・原発事故の被災地域での「選択学習」 「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施 [施設見学・対話・フィールドワーク]
考える	★共通学習 ※選択学習の共有・まとめのワークショップ
17:30	
宿 泊	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　着

3日目

8:30	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　発
10:40	【会津若松市】鶴ヶ城会館
見 学	【会津若松市】鶴ヶ城
	【会津若松市】鶴ヶ城会館（食事）
13:30	会津若松IC
17:50	東京駅　着

プラン2　東京都 発　2泊3日

1日目

8:00	東京駅　発（貸切バス）
	【檜葉町】Jヴィレッジ（食事）
見 学	国道6号（一部、帰還困難区域）通過
13:30	【双葉町】★共通学習
見 学	東日本大震災・原子力災害伝承館 伝承館の一般研修プログラム ※2~3クラスに分かれてローテーション ●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク → ●研修語り部講話 ←
18:00	
宿 泊	【檜葉町】Jヴィレッジ　着
考える	★希望に応じたオプション〈以下から選択が可能〉
対 話	①振り返り【60分~】 ②[防災・減災]避難所運営シミュレーション教材 「さすけなぶる」【90分】 ③[その他の分野] 対話【60分】

2日目

8:30	【檜葉町】Jヴィレッジ　発
見 学	★クラス別選択学習
対 話	震災・原発事故の被災地域での「選択学習」 「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施 [施設見学・対話・フィールドワーク]
15:00	
見 学	【会津若松市】會津藩校日新館
体 験	※弓道や座禅体験など
17:30	
宿 泊	【会津若松市】東山温泉　着

3日目

8:30	【会津若松市】東山温泉　発
8:50	【会津若松市】鶴ヶ城会館
見 学	【会津若松市】鶴ヶ城
見 学	【会津若松市】班別自主研修
体 験	※赤べこ、絵ろうそく絵付け体験など
13:30	【会津若松市】鶴ヶ城会館
13:40	会津若松IC
18:00	東京駅　着

自然体験・環境学習 モデルコース

自然体験・環境学習

東京都 発　2泊3日

1日目

8:00	東京駅　発（貸切バス）
	【北塩原村】（食事）
14:00	
見 学	【北塩原村】磐梯山噴火記念館
見 学 対 話	【北塩原村】五色沼散策 （専門ガイド付き）
17:00	
宿 泊	【裏磐梯エリア】　着

2日目

	【裏磐梯エリア】　発
8:40	八方台登山口
体 験	【磐梯山登山】 （専門ガイド付き）
17:00	
宿 泊	【裏磐梯エリア】　着

3日目

8:30	【裏磐梯エリア】　発
9:10	【会津若松市】會津藩校日新館
10:50	【会津若松市】鶴ヶ城会館
見 学	【会津若松市】鶴ヶ城
	【会津若松市】鶴ヶ城会館（食事）
13:40	会津若松IC
18:00	東京駅　着

自然体験・環境学習 × ホープツーリズム

プラン1　東京都 発　2泊3日

1日目

8:00	東京駅　発（貸切バス）
	【檜葉町】Jヴィレッジ（食事）
見 学	国道6号（一部、帰還困難区域）通過
13:30	【双葉町】★共通学習
見 学	東日本大震災・原子力災害伝承館 伝承館の一般研修プログラム ※2~3クラスに分かれてローテーション ●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク → ●研修語り部講話 ←
18:00	
宿 泊	【檜葉町】Jヴィレッジ　着
考える	★希望に応じたオプション〈以下から選択が可能〉
対 話	①振り返り【60分~】 ②[防災・減災]避難所運営シミュレーション教材 「さすけなぶる」【90分】 ③[その他の分野] 対話【60分】

2日目

8:30	【檜葉町】Jヴィレッジ　発
見 学	★クラス別選択学習
対 話	震災・原発事故の被災地域での「選択学習」 「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施 [施設見学・対話・フィールドワーク]
14:40	猪苗代磐梯高原IC
15:05~15:15	
体 験	【裏磐梯エリア】SDGs探究プログラム/自然環境学習 ●富良野自然塾裏磐梯校 ●磐梯山噴火記念館 ●五色沼自然探勝路散策
17:20	
宿 泊	【裏磐梯エリア】 ●ロハス食育環境プログラム（宿泊施設限定）

3日目

8:30	【裏磐梯エリア】　発
9:10	【会津若松市】會津藩校日新館
10:50	【会津若松市】鶴ヶ城会館
見 学	【会津若松市】鶴ヶ城
	【会津若松市】鶴ヶ城会館（食事）
13:40	会津若松IC
18:00	東京駅　着

プラン2　関西 発　3泊4日　新幹線利用

1日目

7:30	新大阪駅　発（新幹線）
11:48	郡 山 駅　着
12:20	郡 山 駅　発（貸切バス）
13:10	猪苗代磐梯高原IC
13:35~13:45	
体 験	【裏磐梯エリア】SDGs探究プログラム/自然環境学習 ●富良野自然塾裏磐梯校 ●磐梯山噴火記念館 ●五色沼自然探勝路散策
17:00	
宿 泊	【裏磐梯エリア】●ロハス食育環境プログラム（宿泊施設限定）

2日目

8:20	【裏磐梯エリア】　発
9:00	
見 学	【会津若松市】會津藩校日新館
10:50	【会津若松市】鶴ヶ城会館
見 学	【会津若松市】鶴ヶ城　班別自主研修
体 験	※赤べこ、絵ろうそく絵付け体験など
15:50	【会津若松市】鶴ヶ城会館
14:00	会津若松IC
18:00	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　着

3日目

8:00	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　発
見 学	国道6号（一部、帰還困難区域）通過
9:10	【双葉町】★共通学習
見 学	東日本大震災・原子力災害伝承館 伝承館の一般研修プログラム ※2~3クラスに分かれてローテーション ●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク → ●研修語り部講話 ←
見 学	★クラス別選択学習
対 話	震災・原発事故の被災地域での「選択学習」 「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施 [施設見学・対話・フィールドワーク]
18:10	
宿 泊	【檜葉町】Jヴィレッジ　着

4日目

8:30	【檜葉町】Jヴィレッジ
考える	★共通学習 [防災・減災]避難所運営シミュレーション教材 「さすけなぶる」【90分】　まとめのワークショップ【80分】
	【檜葉町】Jヴィレッジ　発
15:31	郡山駅　発（新幹線）　19:30 新大阪駅　着（新幹線）

※復路：いわき駅（常磐線14:18発）→東京駅経由→新大阪駅（新幹線19:30着）も利用可

農業体験・農家民泊 モデルコース

農業体験・農家民泊

千葉県 発　1泊2日

1日目

	学校　発（貸切バス）
7:20	三郷JCT
11:30	【喜多方市】グリーン・ツーリズムサポートセンター
体　験	【喜多方市】開校式後、各農家で農業体験・交流
宿　泊	【喜多方市】各農家

2日目

9:00	【喜多方市】各農家
体　験	【喜多方市】農業体験・交流
12:30	【喜多方市】閉校式
13:00	磐梯河東IC
17:00	三郷JCT
	学校　着

農業体験・農家民泊 × ホープツーリズム

プラン1　千葉県 発（喜多方市）　2泊3日

1日目

	学校　発（貸切バス）
8:40	三郷JCT
	【檜葉町】Jヴィレッジ（食事）
見　学	国道6号(一部、帰還困難区域)通過
13:30	【双葉町】★共通学習
見　学	東日本大震災・原子力災害伝承館 伝承館の一般研修プログラム ※2~3クラスに分かれてローテーション ●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク ●研修語り部講話
18:00	
宿　泊	【檜葉町】Jヴィレッジ　着
考える	★希望に応じたオプション〈以下から選択が可能〉
対　話	①振り返り【60分~】 ②[防災・減災]避難所運営シミュレーション教材 「さすけなぶる」【90分】 ③[その他の分野] 対話【60分】

2日目

8:30	【檜葉町】Jヴィレッジ　発
見　学	★クラス別選択学習
対　話	震災・原発事故の被災地域での「選択学習」 「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施 [施設見学・対話・フィールドワーク]
15:20	
	【喜多方市】
体　験	グリーン・ツーリズムサポートセンター 開校式後、各農家で農業体験・交流
宿　泊	【喜多方市】各農家

3日目

9:00	【喜多方市】各農家
体　験	【喜多方市】農業体験・交流
12:30	【喜多方市】閉校式
13:00	磐梯河東IC
17:00	三郷JCT
	学校　着

プラン2　関西 発（南会津エリア）　3泊4日　新幹線利用

1日目

7:30	新大阪駅　発（新幹線）
11:48	郡 山 駅　着
12:20	郡 山 駅　発（貸切バス）
14:35~15:20	
体　験	【南会津エリア】各農家で農業体験・交流 ●田島・下郷エリア ●伊南・南郷エリア ●舘岩エリア ●只見エリア
宿　泊	【南会津エリア】各農家

2日目

9:00	【南会津エリア】各農家
体　験	【南会津エリア】農業体験・交流
14:00	
見　学	【下郷町】大内宿
18:00	
宿　泊	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　着

3日目

8:00	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　発
見　学	国道6号(一部、帰還困難区域)通過
9:10	【双葉町】★共通学習
見　学	東日本大震災・原子力災害伝承館
対　話	伝承館の一般研修プログラム ※2~3クラスに分かれてローテーション ●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク ●研修語り部講話
見　学	★クラス別選択学習
対　話	震災・原発事故の被災地域での「選択学習」 「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施 [施設見学・対話・フィールドワーク]
18:10	
宿　泊	【檜葉町】Jヴィレッジ　着

4日目

8:30	【檜葉町】Jヴィレッジ
考える	★共通学習 [防災・減災]避難所運営シミュレーション教材 「さすけなぶる」【90分】　まとめのワークショップ【80分】
15:31	郡 山 駅　発（新幹線）
19:30	新大阪駅　着（新幹線）

※復路:いわき駅（常磐線14:18発）→東京駅経由→新大阪駅（新幹線19:30着）も利用可能

他県連携 モデルコース

ホープツーリズム × 仙台・松島研修

プラン1　北海道 発　2泊3日　新函館北斗駅発着・新幹線利用

1日目

7:38	新函館北斗駅　発（新幹線）
11:37	白 石 蔵 王 駅　着
11:50	白 石 蔵 王 駅　発（貸切バス）
13:30	【双葉町】★共通学習
見　学	東日本大震災・原子力災害伝承館 伝承館の一般研修プログラム ※2~3クラスに分かれてローテーション ●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク ●研修語り部講話
18:00	
宿　泊	【檜葉町】Jヴィレッジ　着
考える	★希望に応じたオプション〈以下から選択が可能〉
対　話	①振り返り【60分~】 ②[防災・減災]避難所運営シミュレーション教材 「さすけなぶる」【90分】 ③[その他の分野] 対話【60分】

2日目

8:30	【檜葉町】Jヴィレッジ　発
見　学	★クラス別選択学習
対　話	震災・原発事故の被災地域での「選択学習」 「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施 [施設見学・対話・フィールドワーク]
考える	★共通学習 選択学習の共有・まとめのワークショップ
14:20	浪江IC
18:10	
宿　泊	【仙台市内】着

3日目

8:30	【仙台市内】発
9:30	
見　学	【宮城県・松島町】研修
15:53	仙台駅　発（新幹線）
18:29	新函館北斗駅　着

ホープツーリズム × 東京都内研修

プラン2　関西 発　3泊4日　新幹線利用

1日目

7:30	新大阪駅　発（新幹線）
11:48	郡 山 駅　着　　12:20 郡 山 駅　発（貸切バス）
見　学	国道6号(一部、帰還困難区域)通過
14:40	【双葉町】★共通学習
見　学	東日本大震災・原子力災害伝承館 伝承館の一般研修プログラム ※2~3クラスに分かれてローテーション ●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク ●研修語り部講話
18:00	
宿　泊	【檜葉町】Jヴィレッジ　着
考える	★希望に応じたオプション〈以下から選択が可能〉
対　話	①振り返り【60分~】 ②[防災・減災]避難所運営シミュレーション教材 「さすけなぶる」【90分】 ③[その他の分野] 対話【60分】

2日目

8:30	【檜葉町】Jヴィレッジ　発
見　学	★クラス別選択学習
対　話	震災・原発事故の被災地域での「選択学習」 「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施 [施設見学・対話・フィールドワーク]
考える	★共通学習 ※選択学習の共有・まとめのワークショップ
17:30	
宿　泊	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　着

3日目

8:30	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　発
見　学	【いわき市】環境水族館アクアマリンふくしま
11:00	いわき勿来IC
14:30	テーマパーク駐車場　着

4日目

	東京都内研修

プラン3　九州 発　3泊4日　航空機利用

1日目

	九州各地の空港　発→羽田空港　着（航空機）
10:30	羽田空港駐車場　発（貸切バス）
見　学	国道6号(一部、帰還困難区域)通過
14:40	【双葉町】★共通学習
見　学	東日本大震災・原子力災害伝承館 伝承館の一般研修プログラム ※2~3クラスに分かれてローテーション ●展示見学 ⟷ ●フィールドワーク ●研修語り部講話
18:00	
宿　泊	【檜葉町】Jヴィレッジ　着
考える	★希望に応じたオプション〈以下から選択が可能〉
対　話	①振り返り【60分~】 ②[防災・減災]避難所運営シミュレーション教材 「さすけなぶる」【90分】 ③[その他の分野] 対話【60分】

2日目

8:30	【檜葉町】Jヴィレッジ　発
見　学	★クラス別選択学習
対　話	震災・原発事故の被災地域での「選択学習」 「分野(テーマ)」又は「自治体」に分かれて実施 [施設見学・対話・フィールドワーク]
考える	★共通学習 ※選択学習の共有・まとめのワークショップ
17:30	
宿　泊	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　着

3日目

8:30	【いわき市】スパリゾートハワイアンズ　発
見　学	【いわき市】環境水族館アクアマリンふくしま
11:00	いわき勿来IC
14:30	テーマパーク駐車場　着

4日目

	東京都内研修

スキー学習

“挑戦する気持ち”と“できる経験”を培う

スキー学習で“雪国ふくしま”を体験する

福島県には、磐梯山をはじめ、安達太良連峰、吾妻連峰など多くの山々があり、県内各地に多数のスキー場があります。首都圏から東北新幹線や高速自動車道路を利用して、約3~4時間で各地のスキー場に到着できます。行程に合わせて、スキー場を選ぶことができ、効率的な教育旅行の実施が可能です。また、スキー学習に震災・原発事故を経験した福島ならではの学び「ホープツーリズム（詳細はP6~P15参照）」を組み合わせることで、アクティブラーニングや探究学習に対応した効果的な学びが可能です。

福島だからこその魅力

1. 上質なパウダースノーで滑りやすく、初心者でも丁寧なインストラクターの指導で短期間で上達できる!
2. インターチェンジから30分程度でアクセスできるスキー場がたくさん! レンタル利用で特別な用意は不要
3. 「ホープツーリズム」との連結で、探究学習に対応した効果的な学びが可能

関東圏 発　スキー学習　2泊3日



1日目
- 学校　発（貸切バス）
- 11:20　猪苗代磐梯高原IC
- 【猪苗代・裏磐梯エリア】ホテル（昼食・スキー学習の準備）
- 体験　【猪苗代・裏磐梯エリア】スキー学習
- 16:10~16:40
- 宿泊　【猪苗代・裏磐梯エリア】ホテル　着

2日目
- 8:30　【猪苗代・裏磐梯エリア】ホテル　発
- 体験　【猪苗代・裏磐梯エリア】スキー学習
- 16:10~16:40
- 宿泊　【猪苗代・裏磐梯エリア】ホテル　着
  〈赤べこ絵付け体験などのオプションあり〉

3日目
- 8:00　【猪苗代・裏磐梯エリア】ホテル　発
- 体験　【猪苗代・裏磐梯エリア】スキー学習
- 14:00　猪苗代磐梯高原IC
  学校　着

九州 発　スキー学習 × ホープツーリズム　3泊4日

1日目
- 九州各地の空港　発→羽田空港　着（航空機）
- 10:30　羽田空港駐車場　発（貸切バス）
- 見学　国道6号(一部、帰還困難区域)通過
- 14:40　【双葉町】東日本大震災・原子力災害伝承館
- 見学　伝承館の一般研修プログラム
  （以下から2つを選択してローテーション）
  ●展示見学 ⇔ ●フィールドワーク
  ●研修語り部講話
- 18:00
- 宿泊　【檜葉町】Jヴィレッジ　着
- 考える　★希望に応じたオプション〈以下から選択が可能〉
- 対話　①振り返り（60分）
  ②［その他の分野］対話（60分）

2日目
- 8:30　［防災・減災］
- 考える　避難所運営シミュレーション教材「さすけなぶる」
- 10:10　【檜葉町】Jヴィレッジ　発
  【猪苗代・裏磐梯エリア】ホテル（昼食・スキー学習の準備）
- 体験　【猪苗代・裏磐梯エリア】スキー学習
- 16:10~16:40
- 宿泊　【猪苗代・裏磐梯エリア】ホテル　着

3日目
- 8:00　【猪苗代・裏磐梯エリア】ホテル　発
- 体験　【猪苗代・裏磐梯エリア】スキー学習
- 13:30　【猪苗代・裏磐梯エリア】ホテル　発
- 18:00　東京駅　着

4日目　東京都内研修

先生からよくある質問にお答えします!

Q スキーを体験したことがない生徒がほとんどです。滑れるようになりますか?

A 未経験者と経験者、レベルに合わせて専門のインストラクターがレッスンを行います。初心者クラスは、スキー靴の履き方をはじめ、板・ストックの持ち方から教えます。慣れるまではハードかもしれませんが、最終日にはほとんどの皆さんが滑れるようになります。

Q スキーウェアはどこで着替えますか? 寒さ対策のポイントはありますか?

A 宿泊施設のあたたかい場所で、全員で着替え、スキーを始められるように整えてスキー場へ向かいます。ゴーグルや手袋などの小物も事前申し込みでレンタルができます。各生徒さんの準備として、ネックウォーマーや貼るタイプのカイロがあると、よりあたたかく活動できます。

Q 宿泊施設での空き時間を利用して復興に向けた取り組みを聞きたいです。何かできることはありますか?

A 復興に向けそれぞれの分野で果敢にチャレンジする方々が福島にはたくさんいらっしゃいます。地域づくり、防災・減災、エネルギーなどのテーマから学校様の要望に応じてコーディネートでき、対話を通した効果的な学びが可能です。出張可能な方もいらっしゃいますので、詳しくはホープツーリズム総合窓口へ問い合わせください。

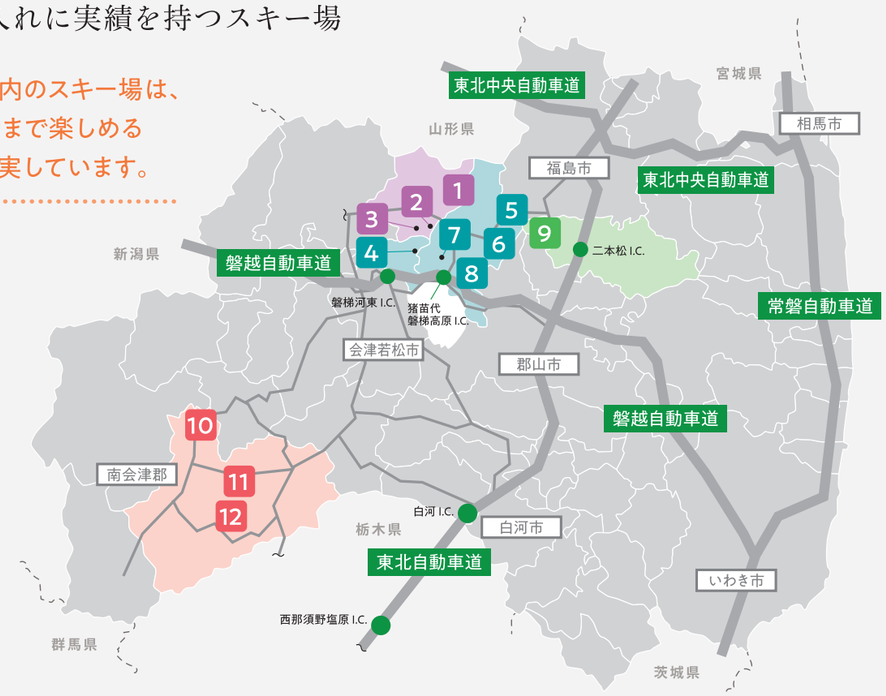
教育旅行受け入れに実績を持つスキー場

良質な雪を誇る県内のスキー場は、
初心者から上級者まで楽しめる
多彩なコースが充実しています。

コース
▶スキー場のコース数

ナイター
▶夜間のナイター営業

オン・ザ・ゲレンデ
▶ゲレンデの目の前に宿泊施設あり





例年の滑走期間　11月下旬~3月下旬

EN RESORT Grandeco Snow Resort
お問合せ先　☎0241-32-2530
標高1,000m以上のコースで、磐梯山の絶景と良質のパウダースノーが堪能できます。ゴンドラと4人乗りのフード付きリフトがあり、初心者にぴったりです。
☒磐越自動車道猪苗代磐梯高原ICから車で約35分
JR東北新幹線郡山駅からシャトルバス約120分



例年の滑走期間　12月下旬~3月下旬

裏磐梯スキー場
お問合せ先　☎0241-32-2177
磐梯山北斜面にあり、幅200mの緩斜面や、最大斜度35度の上級者コースまで、自然の地形を生かしたコースレイアウトが魅力です。営業日は、金・土・日・月曜です。火・水・木曜は、団体予約（50名以上）が可能です。
☒磐越自動車道猪苗代磐梯高原ICから車で約25分



例年の滑走期間　12月中旬~5月上旬

星野リゾート ネコマ マウンテン 北エリア
お問合せ先　☎0242-74-5000
積雪豊富な裏磐梯に位置しており、雪不足の心配なし。キメの細かい上質な雪質が堪能できます。初心者用リフトもあり、初めてのスキー体験も安心です。
☒磐越自動車道猪苗代磐梯高原ICから車で約45分



例年の滑走期間　12月下旬~3月下旬

星野リゾート ネコマ マウンテン 南エリア
お問合せ先　☎0242-74-5000
南東北最大規模のスケールを誇り、バラエティに富んだ全22コースを持つスノーリゾート。初心者向けから、斜面変化の楽しいメインコースまで、滑り応えのあるコースがそろいます。
☒磐越自動車道磐梯河東ICから車で約15分
JR東北新幹線郡山駅からシャトルバス約100分



例年の滑走期間　12月中旬~3月下旬

箕輪スキー場
お問合せ先　☎0242-64-3377
ベースエリアの標高は1,050mと県内一の高さを誇り、シーズンを通してパウダースノーを満喫できるスキー場です。山頂付近では樹氷や霧氷を見ることができます。
☒磐越自動車道猪苗代磐梯高原ICから車で約30分
JR東北新幹線福島駅からシャトルバス約60分



例年の滑走期間　12月下旬~3月下旬

沼尻スキー場
お問合せ先　☎0242-67-1250
初心者のゲレンデデビューに適した緩斜面中心のコースに、待望の上級者コースが復活し、初級者から上級者までバラエティ豊かな全11コースがそろいました。沼尻温泉や中ノ沢温泉が近くにあり、スキーと温泉をあわせて楽しむことができます。
☒磐越自動車道猪苗代磐梯高原IC又は磐梯熱海ICから車で約30分、JR磐越西線猪苗代駅から車で約30分



例年の滑走期間　12月下旬~3月下旬

絶景・猪苗代スキー場
お問合せ先　☎0242-62-5100
絶景&広大なゲレンデは、コース幅の広い緩斜面が多く、初心者にもおすすめです。外国人インストラクターによる英語でのレッスンも可能で、スキー体験だけでなくグローバルな体験もできます。
☒磐越自動車道猪苗代磐梯高原ICから車で約10分
JR磐越西線猪苗代駅からシャトルバス約15分



例年の滑走期間　12月下旬~3月下旬

リステルスキーファンタジア
お問合せ先　☎0242-66-4111
初心者向けの幅広緩斜面コースから、FIS大会も開催される上級コースまで、全6コースが楽しめます。ゲレンデとホテルが直結したプライベートゲレンデで移動も便利です。
☒磐越自動車道猪苗代磐梯高原ICから車で約10分
JR磐越西線猪苗代駅からシャトルバス約15分



例年の滑走期間　12月下旬~3月上旬

あだたら高原スキー場
お問合せ先　☎0243-24-2141
安達太良山の中腹に位置し、7コースを有するスキー場です。初級・中級者向けの斜面が多く、カービングの練習にも最適です。
☒東北自動車道二本松ICから車で約20分
JR東北本線二本松駅から車で約25分



例年の滑走期間　12月下旬~3月下旬

会津高原 南郷スキー場
お問合せ先　☎0241-73-2111
多彩なアイテムがそろったフリーパークは、中・上級者エリアとは別にビギナー向けエリアがあります。また全国屈指のハーフパイプ施設を誇り、聖地として有名です。
☒東北自動車道西那須野塩原ICから車で約100分



例年の滑走期間　12月下旬~3月下旬

会津高原 だいくらスキー場
お問合せ先　☎0241-64-2121
バリエーション豊かな全12コースと上質なパウダースノーで、スキー場デビューの初心者からベテランまで楽しめます。
☒東北自動車道西那須野塩原ICから車で約80分
会津鉄道会津田島駅からバス約30分



例年の滑走期間　12月下旬~3月下旬

会津高原 たかつえスキー場
お問合せ先　☎0241-78-2220
縦長にレイアウトされたゲレンデは、奥行きも標高差も、東北屈指のスケールを誇ります。多彩なコースときめ細やかな“たかつえパウダー”で、初級者から上級者まで楽しめます。
☒東北自動車道西那須野塩原ICから車で約90分
野岩鉄道会津高原尾瀬口駅からバスで約30分

合宿

多種多様な合宿に対応

豊かな自然と充実した設備
年間を通しての合宿が可能

夏は涼しく、太平洋側のエリア（浜通り）では、冬も雪の影響を受けない気候や豊かな自然環境が整う福島県。合宿専用のワンストップ窓口も充実しており、運動系・文化系を問わず、多種多様な合宿を行うことができます。また、合宿に震災・原発事故を経験した福島ならではの学び「ホープツーリズム（詳細はP6～P15参照）」を組み合わせることで、合宿と学びの両立が可能です。

福島だからこその魅力

1. 夏は涼しく、冬は温暖な快適な環境!
2. 一括手配をサポートする合宿専用ワンストップ窓口の充実
3. 合宿と学びを両立「合宿×ホープツーリズム」

モデルコース

合宿 × ホープツーリズム

～震災・原発事故のフィールドからの学びが選手の成長と本当のチームワークを育む～

さまざまなエリアで行われる合宿との連結が可能。
学びのテーマや合宿と学びのバランスなど、多様なニーズに合わせたホープツーリズムの実施ができます。

相馬エリアの合宿×ホープツーリズム　4泊5日

1日目	食事	相馬エリア
	13:50	【相馬市】フィールドワーク
	見学	●南ノ入災害公営住宅→尾浜こども公園
	対話	→相馬港湾建設事務所
		●相馬市伝承鎮魂祈念館・慰霊碑
		震災当時の映像視聴／語り部との対話
		館内見学／慰霊碑見学
		●原釜尾浜海水浴場→松川浦大橋→大洲海岸
		→メガソーラー
		●相馬市防災備蓄倉庫（見学・説明）
		相馬市殉職消防団員顕彰碑
	対話	【相馬市】班別研修（以下より選択）
		●[農業] 飯豊ファーム
		●[エネルギー] レナトス相馬ソーラーパーク（メガソーラー）
		●[観光] 相馬市松川浦観光旅館組合
		●[漁業] 福島県水産資源研究所
	考える	●ワークショップ
	18:00	【相馬エリア】宿泊施設　着
2-5日目	合宿	相馬エリア（練習、地元学校と交流試合）

双葉エリアの合宿×ホープツーリズム　4泊5日

1日目	11:30	【双葉町】東日本大震災・原子力災害伝承館
	ガイダンス	ガイダンス
		昼食
	見学	伝承館見学
	見学	フィールドワーク
	対話	[住民] 被災住民の方との対話
		※他分野への変更も可能
	考える	●振り返り（アウトプット）（60分）
	18:00	【双葉エリア】宿泊施設　着
2-5日目	合宿	Jヴィレッジ（練習、地元学校と交流試合）

東日本大震災・原子力災害伝承館 ▶P8



館内の映像や展示などの豊富な資料から、震災・原発事故直後から現在までの経過・復興のあゆみの全体像を学ぶことができます。

相馬市防災備蓄倉庫



相馬市民のみならず、災害時相互応援協定を締結した14自治体の防災備蓄倉庫でもあります。防災士が行うワークショップもこちらの研修室で行うことができます。

問 相馬市観光協会 ☎0244-35-3300

復興に向け果敢にチャレンジする人々との対話 ▶P10



住民、地域づくり、農林水産業、医療・福祉、原発・廃炉、エネルギーなど、学びのニーズに応じて対話の設定ができます。

合宿施設

野球・テニス・スカッシュ・サッカー・バスケットボール・バレーボール・ラクロス・ラグビー・陸上全般・マラソン・応援団・チアリーディング・吹奏楽・合唱・天文・スキー・水泳など、さまざまな合宿が可能です。



楢葉町

Jヴィレッジ

お問合せ先 ☎0240-26-0111

常磐自動車道広野ICから車で約5分、JR常磐線Jヴィレッジ駅から徒歩で約10分

サッカー / ラグビー / バスケットボール / ダイバーシティ / その他

東日本大震災を経て、コンサートやイベントなど多目的に利用できる全天候型練習場が新設され、さらなる魅力が加わり、2019年4月に全面営業再開しました。Jヴィレッジはサッカーをはじめとするさまざまなスポーツ利用だけでなく、福島県のおいしい食材を使用したシェフこだわりの料理を堪能したり、震災の記憶に触れながら施設を見学することができます。「ふくしまの復興の歩みを学ぶことのできる」Jヴィレッジは、教育旅行や企業研修にも最適な施設となっています。



新地町

しんちパンプトラック

お問合せ先 ☎0244-32-1520（釣師防災緑地公園内）

常磐自動車道新地ICから車で約10分

自転車競技 / キックボード / BMXバイク / スケートボード / スケートボード



相馬市

相馬光陽サッカー場

お問合せ先 ☎0244-35-0127

常磐自動車道相馬ICから車で約15分
JR相馬駅から車で約10分

サッカー



いわき市

上荒川公園

お問合せ先 ☎0246-29-1171（上荒川公園総合体育館）

JRいわき駅から車で約10分、いわき中央ICから車で約15分

陸上 / 野球 / フットサル / バレーボール / バスケットボール / 卓球 / テニス / ハンドボール / 水泳 / 柔道 / 剣道 / 弓道



北塩原村

スポーツパーク桧原湖

お問合せ先 ☎0241-34-2256（スポーツパーク桧原湖管理組合）

磐越道猪苗代磐梯高原ICから車で約35分
JR猪苗代駅から車で約35分

陸上



猪苗代町

猪苗代町運動公園

お問合せ先 ☎0242-72-1534

磐越道猪苗代磐梯高原ICから車で約15分
JR猪苗代駅から車で約10分

野球 / サッカー / テニス / ソフトボール / 陸上 / ゲートボール / ラグビー



西会津町

さゆり公園

お問合せ先 ☎0241-45-4317

磐越自動車道西会津ICから車で約6分
JR野沢駅から車で約2分

陸上 / 野球 / 野球 / サッカー / バスケットボール / バレーボール / 卓球 / テニス / ハンドボール / 水泳 / ゲートボール



会津若松市

会津総合運動公園

お問合せ先 ☎0242-28-4440

磐越自動車道会津若松ICから車で約30分
JR磐越西線会津若松駅から車で約20分

バレーボール / ハンドボール / 卓球 / バスケットボール / 柔道 / 剣道 / 弓道 / テニス / 陸上 / 軟式野球 / ソフトボール / サッカー



南会津町

びわのかげ運動公園

お問合せ先 ☎0241-62-2442（南会津町振興公社本部）

西那須野塩原ICから車で約60分
会津鉄道会津田島駅から車で約5分

陸上 / 野球 / ソフトボール / サッカー / テニス / 水泳 / ゲートボール



福島市

県営あづま総合運動公園

お問合せ先 ☎024-593-1111

東北自動車道福島西ICから車で約10分
JR福島駅から車で約20分

野球 / 軟式野球 / サッカー / バスケットボール / バレーボール / ハンドボール / テニス / フットサル / 卓球 / 水泳 / 陸上 / パークゴルフ / ゲートボール / ラグビー



郡山市

磐梯熱海アイスアリーナ

お問合せ先 ☎024-984-5377

磐梯熱海ICより車で約5分
JR磐梯熱海駅から徒歩約10分

アイスホッケー / フィギュアスケート / スケート / ショートトラック / カーリング



郡山市

郡山しんきん開成山プール

お問合せ先 ☎024-926-0450

東北自動車道郡山ICから車で約20分
JR郡山駅から車で約10分

水泳 / 水球



田村市

スカイパレスときわ クロスカントリーコース

お問合せ先 ☎0247-77-2070

磐越自動車道船引三春ICから車で約30分
JR磐越東線船引駅から車で約25分

陸上



泉崎村

泉崎村さつき運動公園

お問合せ先 ☎0248-53-3775（泉崎村教育委員会 教育課 トレーニングセンター）

JR泉崎駅から車で約5分

陸上 / 野球 / サッカー / 軟式野球 / ソフトボール / バレーボール / バスケットボール / テニス / ハンドボール / 卓球 / 弓道 / 自転車競技 / 水泳



棚倉町

ルネサンス棚倉

お問合せ先 ☎0247-33-4111

東北自動車道白河ICまたは矢吹ICから車で約45分
JR新白河駅から車で約40分

野球 / サッカー / バスケットボール / バレーボール / ハンドボール / テニス / ソフトボール / フットサル / 卓球 / 剣道 / 水泳 / ゴルフ / ゲートボール / その他

福島県の教育旅行をワンストップでご案内!

福島県の教育旅行についてのお問い合わせは

福島県教育旅行ワンストップ窓口

教育旅行をサポートするための専用窓口を設置しています。県内にある体験プログラム受入団体の情報を集約し、ワンストップで先生方や旅行会社様からの、お問い合わせ・資料請求にお応えできます。ぜひ、ご利用ください。

福島県教育旅行専用ポータルサイト

ふくしま教育旅行　検索

https://www.tif.ne.jp/kyoiku/

P6〜15

ホープツーリズム

ホープツーリズムについてのお問い合わせは

ホープツーリズム総合窓口

ホープツーリズムに関するコンテンツの集約、学校様の学びのニーズへの対応、旅行会社様の商品造成・ツアー実施をサポートする現地手配機能を兼ね備えたホープツーリズムに特化した「総合窓口」を設置しています。
ホープツーリズム総合ガイドブックもご用意しております。

ホープツーリズム専用ポータルサイト

ホープツーリズム　検索

サイト内には、旅行会社様の商品造成やツアー実施に役立つ詳細情報を掲載した専用ページを設けておりますので、ぜひ、ご利用ください。

※閲覧には、専用ID・パスワードが必要となります。
簡易登録により取得ができますので、お問い合わせください。

https://www.hopetourism.jp/

お問い合わせ先（ホープツーリズム・教育旅行推進部門）

教育旅行　E-mail：tabiiku@tif.ne.jp　ホープツーリズム　E-mail：hopetourism@tif.ne.jp

電話番号共通　024-525-4060　8:30〜17:30（土日祝日、12/29〜1/3 を除く）

発行　福島県観光交流局観光交流課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 TEL.024-521-7398 FAX.024-521-7888

問　公益財団法人福島県観光物産交流協会
ホープツーリズム・教育旅行推進部門
〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20 コラッセふくしま7階 TEL.024-525-4060 FAX.024-525-4087

●本誌掲載データは、2023年12月現在のものです。●内容は予告なく変更される場合もありますので事前にご確認ください。●掲載の記事・写真・図版・イラスト等の無断転載を禁じます。また、写真はすべてイメージであり実物とは異なる場合があります。●掲載の地図や縮尺、所要時間などは、おおよその目安となるものです。●この冊子に掲載された内容により生じたトラブルや損害などについては、補償いたしかねますので、予めご了承願います。